

官報

號外 昭和七年三月二十四日

○第六十一回衆議院議事速記録第三號

帝國議會

昭和七年三月二十三日(水曜日)

午後一時三十九分開議

議事日程 第二號

昭和七年三月二十三日

午後一時開議

第一 滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲
公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第二 昭和七年勅令第四號(金貨兌換
禁止ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

(委員長報告)

第三 昭和七年勅令第七號(國債償還
資金ノ繰入一部停止ニ關スル件)(承
諾ヲ求ムル件)

(委員長報告)

第四 昭和七年勅令第六號(滿洲事件
ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關
スル件)(承諾ヲ求ムル件)

(委員長報告)

第五 昭和七年勅令第十四號(滿洲事
件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ
關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

(委員長報告)

第六 昭和七年勅令第十九號(滿洲事
件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ
關スル件)(承諾ヲ求ムル件)

(委員長報告)

○議長(秋田清君) 諸般ノ報告ヲ致サセマ
ス

(書記官朗讀)

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

決議案(議長副議長ノ黨籍ニ關スル件)

提出者

小山 松壽君 野村 嘉六君

八並 武治君 岩切 重雄君

井上 剛一君 工藤 鐵男君

勝 正憲君 山道 襄一君

田中 武雄君 木村小左衛門君

(以上三月二十二日提出)

一議員ヨリ提出セラレタル質問主意書左ノ
如シ

臣節問題、財政經濟、ドル買其ノ他ニ關
スル質問主意書

提出者

福田關次郎君

(以上三月二十二日提出)

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノ爲
茲ニ掲載ス)

一昨二十二日大藏內閣總理大臣ヨリ左ノ通
發令アリタル旨ノ通牒ヲ受領セリ

外務省通商局長 武富 敏彦

第六十一回帝國議會外務省所管事務政府
委員被仰付

內務省警保局長 森岡 二郎

第六十一回帝國議會內務省所管事務政府
委員被仰付

大藏省銀行局長 大久保偵次

第六十一回帝國議會大藏省所管事務政府
委員被仰付

鐵道省經理局長 工藤 義男

第六十一回帝國議會鐵道省所管事務政府
委員被仰付

一昨二十二日委員長及理事互選ノ結果左ノ
如シ

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行
ニ關スル法律案(政府提出)外五件委員

委員長 大口 喜六君

理事

胎中楠右衛門君 板谷 順助君

石坂 豐一君 堀川 美哉君

工藤 鐵男君 中島彌團次君

一昨二十二日議長ニ於テ選定シタル委員左
ノ如シ

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行
ニ關スル法律案(政府提出)外五件

大口 喜六君 胎中楠右衛門君

石井 三郎君 熊谷 巖君

瀧 正雄君 志賀和多利君

箸本 太吉君 矢野 晋也君

中村 嘉壽君 木暮武太夫君

板谷 順助君 堀川 美哉君

石坂 豐一君 松山常次郎君

森田 福市君 西岡竹次郎君

山村豐次郎君 松田 源治君

小川郷太郎君 川崎 克君

堤 康次郎君 中島彌團次君

勝 正憲君 工藤 鐵男君

中村 繼男君 田中 貢君

小池 四郎君

一昨二十二日常任委員補選選舉ノ結果左ノ
如シ

第三部選出

豫算委員 山道 襄一君(岸衛君補
選)

第五部選出

豫算委員 小川郷太郎君(古屋慶隆
君補選)

第五部選出

豫算委員 勝 正憲君(矢野庄太
郎君補選)

第六部選出

豫算委員 增田 義一君(佐藤正君
補選)

一昨二十二日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル
常任委員左ノ如シ

第三部選出

豫算委員 山道 襄一君

第五部選出

豫算委員 小川郷太郎君

第五部選出

豫算委員 勝 正憲君

第六部選出

豫算委員 增田 義一君

一昨二十二日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ
如シ

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行
ニ關スル法律案(政府提出)外五件委員

辭任松山常次郎君 補選鈴木 義隆君

○議長(秋田清君) 是ヨリ會議ヲ開キマ
ス、內閣總理大臣ハ、貴族院ニ於テ特ニ總
理大臣ニ對スル質問ニ應答中デアリマス、カ
ラ、其濟ミ次第ニ當院ニ出席サレルサウデ
アリマス、豫メ之ヲ御告ゲ致シテ置キマス、

日程第一、滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲
公債發行ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續ヲ
開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員
長大口喜六君

第一 滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲
公債發行ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發
行ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也

昭和七年三月二十二日

委員長 大口 喜六

衆議院議長秋田清殿

(大口喜六君登壇)

○大口喜六君 只今議題ト相成リマシタ、

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ

關スル法律案外五件ノ特別委員會ノ經過茲

ニ結果ヲ御報告致シマス、委員ハ昨日御指

名ヲ受ケマシテ、直ニ委員會ニ集合致シマ

シタ、サウシテ委員長長並ニ理事ノ選舉ヲ行ヒマシタ、委員長ニハ不肖私、理事ニハ胎中楠右衛門君、板谷順助君、石坂豐一君、堀川美哉君、工藤鐵男君、中島彌次君、此六君が御當選ニ相成リマシタ、ソレヨリ暫時休憩ノ後會議ヲ開キマシタ、先ツ質疑ニ入りマシタガ、民政黨ノ川崎克君、第一控室ノ小池四郎君ト政府トノ間ニ於キマシテ質問應答ガ重ネラレマシタ後質疑ヲ打切り、一時休憩スベシトノ動議ガ成立致シマシタ、ソコデ再開後討論ニ入りマシテ、政友會ノ志賀和多利君ハ、滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案ニ對シマシテハ原案ニ贊成シ、其他ノ各案ニ對シマシテハ全部承諾ヲ與フベシトノ意見ヲ述ベラレマシタ、更ニ民政黨ノ田中貢君ヨリモ、意見ノ御陳述ガアリマシタ、サウシテ同君ノ御演說ハ一時閑餘ノ長キニ互リマシタガ、委員長ハ其御趣意ノ在リマス所ヲ捕捉シ兼ネマシタノミナラズ、御言葉ノ中ニモ、我國ノ財界ノ現狀ニ鑑ミマシテ、深ク考慮ヲ要スベキ點アリト私ハ固ク信ジマシタノデ、甚ダ遺憾デアルト存ジマシタガ、已ムヲ得ズ同君ノ御演說ヲ繼續セシメザルコトニ致シマシタ、ソレト同時ニ討論終結ノ動議ガ成立致シマシテ、採決ニ入りマシタ、其結果滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案ハ、原案ヲ可ト致シマシテ、其他ノ各案ニ對シマシテハ、全部承諾ヲ與フベシトノコトニ決定致シマシタ次第デアリマス、此段御報告致シマス(拍手)

○議長(秋田清君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ、原物兵衛君——(議長々々)ト呼ヒ其他發言スル者多シ原君ノ發言ヲ許シマシタ
○原惣兵衛君 直ニ第二讀會ヲ開キ、第三

讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り、可決セラレシコトヲ望ミマス(拍手)
○議長(秋田清君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キマス
滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案 第二讀會(確定議)
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(秋田清君) 第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ
〔拍手起ル〕

○議長(秋田清君) 日程第二乃至第六ハ同一委員ニ付託シタル議案デアリマスカラ、一括議題ト爲スニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、日程第二、昭和七年勅令第四號、日程第三、昭和七年勅令第七號、日程第四、昭和七年勅令第六號、日程第五、昭和七年勅令第十四號、日程第六、昭和七年勅令第九號、右ヲ一括シテ議題ト致シマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長大口喜六君

第二 昭和七年勅令第四號(金貨兌換禁止ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
報告書
一 昭和七年勅令第四號(金貨兌換禁止ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和七年三月二十二日
委員長 大口 喜六
衆議院議長秋田清殿

第三 昭和七年勅令第七號(國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
報告書
一 昭和七年勅令第七號(國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和七年三月二十二日
委員長 大口 喜六
衆議院議長秋田清殿

第四 昭和七年勅令第六號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
報告書
一 昭和七年勅令第六號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和七年三月二十二日
委員長 大口 喜六
衆議院議長秋田清殿

第五 昭和七年勅令第十四號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
報告書
一 昭和七年勅令第十四號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和七年三月二十二日
委員長 大口 喜六
衆議院議長秋田清殿

報告書
一 昭和七年勅令第十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和七年三月二十二日
委員長 大口 喜六
衆議院議長秋田清殿

○大口喜六君 此案ニ對シマシテハ同一委員ニ付託サレタ案デアリマスガ故ニ、此前ノ案ノ時ニ同時ニ御報告ヲ致シタ通りデアリマス、アレデ御承知ヲ願ヒタイト存ジマス(拍手)
○議長(秋田清君) 是ヨリ討論ニ入りマス、川崎克君——川崎克君
○一松定吉君 簡單デアリマスカラ議事進行ニ關シマシテ……
○議長(秋田清君) 御待チ下サイ、川崎克君ニ發言ヲ許シタノデアリマス、川崎克君——川崎克君——川崎克君ノ登壇ヲ求メマス
〔川崎克君登壇〕

○川崎克君 只今議題トナツテ居リマスル各案ニ對シマシテ委員長ノ御報告ガアツタノデアリマスルガ、委員會ニ於ケル模様ヲ詳細ニ御報告ニナラズニ、自分ノ方ニ都合ノ好イコトバカリヲ御報告ニナツテ居ルノデアリマス、私ハ斯様ナ重大ナ案件ヲ付議セラル、所ノ本期議會ニ於キマシテ、僅ニ會期ヲ三日間ニ制限セラレタト云フコト自體ガ、抑、議案ヲ審議スルノニ無理ガアツタ點デアルト言ハナケリヤナラヌノデアアル(拍手)會期ヲ三日間ニ限ラレタ場合ニ於キマシテハ、與黨ノ諸君ハ難量ヲ示シテ、成タク反對黨ニ其言論ヲ盡サシメナケレバナラヌノデアアル(拍手)殊ニ前ノ田中内閣時代ニ於テモ、臨時議會ガ開カレタ時ニデス、田中内閣ノ時代ノ臨時議會ニ於テスラ、會

報告書
一 昭和七年勅令第十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和七年三月二十二日
委員長 大口 喜六
衆議院議長秋田清殿

報告書
一 昭和七年勅令第十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和七年三月二十二日
委員長 大口 喜六
衆議院議長秋田清殿

報告書
一 昭和七年勅令第十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和七年三月二十二日
委員長 大口 喜六
衆議院議長秋田清殿

報告書
一 昭和七年勅令第十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和七年三月二十二日
委員長 大口 喜六
衆議院議長秋田清殿

報告書
一 昭和七年勅令第十九號(滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件)(承諾ヲ求ムル件)
右ハ本院ニ於テ承諾ヲ與フヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和七年三月二十二日
委員長 大口 喜六
衆議院議長秋田清殿

期ノ九分通りマデハ衆議院ニ費シタノデア
ル、即チ豫算審議權ヲ重シテ、國民負擔
ニ關係ノアル問題ニ付キマシテハ、衆議院
ノ審議ヲ重シズルガ爲ニ、其時間ヲ割イタ
ノデア、今同ハドウデアリマス、三日間
ノ會期ニ於テ、二日ヲ貴族院ニ割キ、一
日ヲ衆議院ニ割カナケレバナラヌト云フヤ
ウナコトハ、抑、初マリカラ無理ノ點デア
ルト謂ハナケレバナラヌノデア、(拍手)左
様ナ無理ナコトノアツタ場合ニハ、與黨ノ諸
君ト成タケ協調ヲ遂ゲテ、吾々モ圓滿ニ行
キタイト云フ考ヲ有テ居タノデアリマス
ルカラ、本日午前中、少クモ委員會ニ於
テ審議セラレタナラバ、此時間ニハ上程ヲ
セラレタコトガ明デアルニ拘ラズ、委員ノ
言論ヲ阻止セラレテ、吾々ノ同志ガ、七人
迄通告ヲ致シテ居タニ拘ラズ、私人ダケ
ハ許サレタガ、外ノ者ハ許サレナイ、ノミ
ナラズ討論中ニ言論ヲ抑ヘルト云フガ如キ
コトハ、暴横モ極マリト謂ハナケリヤナ
ラス、殊ニ其問題ニ對シマシテハ、(先例
ヲ知テ居ルカ)速記録ヲ御覽ナサイト呼
フ者アリ)工藤君カラ發言ヲ求メタニ拘ラ
ズ、委員長ハ許サナイ、左様ナコトヲ致サ
レタ爲ニ、昨夜ハ此處ニ於テ再議ニ之ヲ付
セナケレバナラヌト云フ動議スラ出タノデ
アリマス、併ナガラ私共ハ之ヲ再議ニ付シ
テ、此會期ノ短カイ議會ニ、モウ一遍之ヲ
同一委員ニ付託シテ、審議ヲ進メルナント
云フヤウナコトヲヤルコトガ宜シクナイト
思ウタカラ、ソレヲ撤回ラシテ居ルノデア
ル、其點ニ付テハ、委員長ハ能ク御報告ニ
ナツコトガ宜カッタと思フノデア、甚ダ
私ハ遺憾ニ存ズル點デアリマス、惜テ本論
ニ入ルノデアリマスガ

〔一山百文〕「默レ」ト呼ヒ其他發言ス
ル者アリ

○議長(秋田清君) 靜肅ニ——靜肅ニ

○川崎克君(續) 茲ニ掲ゲラレテアリマス
ル所ノ、日程第三ノ減債基金ノ繰入停止ニ

官報號外 昭和七年三月二十四日 衆議院議事速記録第三號

對シマスル問題ニ付キマシテハ、遺憾ナガ
ラ民政黨ハ反對ヲ致スノデアリマス、私ハ
其反對ノ理由ヲ茲ニ明確ニ致シテ置キタイ
ト思フノデアリマス、減債基金制度ハ、何
ガ爲ニ必要デアルカト言ヘバ、法定償還制
度ヲ確立シテ、財政ノ基礎ヲ鞏固ニスルト
云フコトガ根本ノ理由ニナツテ居ルノデア
リマス、所ガ昨日來賓問應答ヲ致シマシタ
所ニ依リマスト云フト、動トモスルト大藏
大臣ハ、減債基金制度ヲ自由償還デアルカ
ノ如キ口吻ヲ此議場デ漏サレテ居ルノデア
リマスガ、決シテ自由償還デアリマセヌ
(民政黨ハドウシタ)ト呼フ者アリ)民政黨
ハ未ダ會テ減債基金ノ繰入停止ヲ致シタコ
トハアリマセヌ、減債基金ヲ繰入停止ヲ致
シタノハ、前内閣當時ニ於テ、高橋大藏大
臣ガ之ヲ行ウタコトガアル、高橋大藏大
臣ハ、前政友會内閣ノ時代ニ、減債基金ノ繰
入停止ヲオヤリニナツタノデアリマス、併ナ
ガラ私共ハ減債基金制度ト云フモノガ設ケ
ラレテ、茲ニ法定償還ト云フモノガ確立ヲ
致シタ以上ハ、是ハ國トシテ、政府トシテ
實行ヲシナケレバナラヌ義務ヲ負ウテ居ル
ノデアリマス、是ハ國民ニ對スル所ノ公約
デアリマス、國民ニ對スル公約ヲ無視スル
場合ニ於テハ、他ニ財源トシテ得ラレベキ
モノヲ考ヘタ後デナケリヤイケナイ、即チ
財源ヲ十分ニ考ヘタ上デナケレバ、減債基
金ノ繰入ヲ停止スルト云フヤウナ、國ノ信
用ニ關スル問題ハ容易ニ行フベカラザルモ
ノデアルト言ハナケレバナラヌ(拍手)先ヅ
増稅計畫ヲヤルニシテモ、増稅計畫ハ困難
デア、又公債ノ募集ハ出來ナイ、已ムヲ
得ヌカラシテ、減債基金ノ繰入停止ヲヤラ
ナケリヤナラヌト云フヤウナ場合ニ於テノ
ミ行ヒ得ルモノデア、是ガ昭和六年度ノ
豫算ガ歲入不足ニナツタカラト云フ故ヲ以
テ、減債基金ノ繰入停止ヲシタノデアリマ
スルガ、此赤字填メト云フノハ、此内閣ニ
ナツタカラ、新シク預金部デ公債ヲ募集スル

コトニ決メテ居タ、此内閣ニナツタカラ決
メテ居タ、ソレガ減債基金繰入ノ停止ニ
變、タト云フノハ小川君ガ昨日此處デ述ベ
ラレタヤウニ、何等カノカラクリガアツタモ
ノデアラウト想像セラレ(拍手)萬分ノ百
十六ト云フモノヲ償還シナケレバナラヌト
云フコトヲ決メタ以上ハ、償還ノ義務ヲ政
府ハ負ウテ居ル、所謂國民ニ對スル公約デ
アリマス、其公約ヲ果スト云フコトガ最モ
必要ナコトデア、即チ此公約ヲ果サナイ
ト云フコトカラ生ズル所ノ不利益ハ、財政
ノ基礎ヲ危殆ニ赴カシムルノミナラズ、金
融上ニ於テモ非常ナル損失ガ起ルノデアリ
マス、金融上ニ起ル所ノ損失ト云フノハ、
ウデア、金カト言ヘバ、此内閣ニナツタカラ、
金ノ値打ガ下ツタ、金ノ値打ガ安クナツタ、物
價ノ高クナルノデア、所謂金ヨリ物ヘノ宣
傳ニ基イテ、貨幣價值ガ他日下落スルモノ
デアルト云フ想像ヲ國民ニ懷カシメテ居
ル、斯様ナ場合ニ於テ——貨幣價值ノ下
ルモノデアルト云フ感ジヲ持タセテ居ル此場
合ニ於テ、國家ガ國民ニ公約シテ居ル所ノ
減債基金ノ繰入停止ヲ行フト云フガ如キ
ハ、此問題ニ拍車ヲ掛ケタモノト云フハナケ
レバナラヌノデア、(拍手)斯様ナコトニ
依テ、金融界ニ與ヘル所ノ梗塞ノ程度ハ
強クナツタ來ルト云フコトハ明カデアルト
謂ハナケレバナラヌ、殊ニ昭和六年度ノ減
債基金繰入停止ハ四千四百萬圓デアリマス
ルガ、此四千四百萬圓ノ基金繰入停止ヲ行
ウタ爲ニ、金融界ニ與ヘタ影響ナルモノハ
少クナイノデア、今日金融ハ梗塞致シテ居
リマシテ、二月ノ現計ニ依テ見マシテモ、
昨年ノ二月ト本年ノ二月ト較ベテ見マスナ
ラバ、民間ノ預金ガ非常ニ減テ居ル、昨年
ノ二月ノ預金ハ二億一千萬圓モアツタノガ、
今年ノ二月末ノ現計デハ六千七百萬圓シカ
ナイ、斯ウ云フヤウナ金融梗塞ヲシテ居ル
場合ニ、民間ヘ金ヲ與フベキ場合ニ、此減
債基金ノ繰入停止ヲシタト云フコトハ、明

カニ四千四百萬圓ノ程度ニ於テハ、民間ノ
金融梗塞トナツテ現ハレタコトハ、爭フベカ
ラザル事實デア、(拍手)言ハナケレバナラヌ
デア、(拍手)吾々ハ斯様ナ實害ヲ及ボシテ居
ルコトヲ遺憾ニ思フノデアリマス、殊ニ此
減債基金繰入停止ハ、一時的ノモノデア、
更ニ永久的ノモノデアルト云フニ至テハ
驚カザルヲ得ナイノデア、前々内閣デハ
高橋サンノ會テ大藏大臣タリシ時分ニ、大
正九年ニ減債基金ノ停止ヲオヤリニナツ
時ハ、大正九年カラ大正十二年迄ト云フ期
限ヲ限ラレテ減債基金ノ繰入停止ト云フコ
トヲナサツタ、其時分ニハ減債基金獨リ歩キ
ヲサシタノデア、他面ニ於テハ所得稅
及ビ酒稅ノ増稅ト並行シテ、此減債基金
ノ一部停止ヲ行ウタノデアリマスガ、今度
ハドウデア、今度ハ他ノ財源ヲ求メナ
イデ置イテ、繰入停止ダケヤテ、ソレモ昭
和六年度ノ四千四百萬圓ニ付テハ、此年度限
リト云ハレテ居ルケレドモ、昭和七年度ノ豫
算ニ於テハ、一般會計ニ於テ三千萬圓、特
別會計ニ於テ一千七百萬圓ノ減債基金繰入
停止ガ行ハレツ、アル、減債基金ノ總額
七千二百萬圓カラ差引ケバ、二千五百萬
圓程ハ停止ヲ行ハナイヤウニ形ハ見エテ
居ルケレドモ、委員會ニ於テ調べテ見マ
スレバ、矢張外債ニ向ケテ居テ、ドウシテ
モ償還シナケレバナラナイモノダケヲ除
ケテ居ル、内債ノ悉ク、全部繰入停止ヲシ
テ居ルノデア、斯様ナコトヲシテ、將來
ノ日本ノ財政計畫ト云フモノハ、確實性ヲ
帶ビルカ帶ビヌカト云フコトヲ考ヘル時、
素人ガ考ヘテモ、財政計畫ハ不確實ニナラ
ザルヲ得ナイト云フコトハ爭ハレナイ(拍
手)殊ニ七年度ノ豫算ヲ編成セラレルニ方
テ、何ヲ財源ニ御探リニナルカト云ヘバ、
増稅ハヤラスト言ハレテ居ルノデア、但シ
關稅ノ一部増稅ハ御ヤリニナルヤウデア、
關稅ノ一部増稅ヲ御ヤリニナツタ所デ、其金

額ハ三千万圓ヲ出デヌト思ヒマス、サウ致シマスト財源ト見ルベキモノハ、昭和七年度ニ於テハ悉ク公債ニ財源ヲ求メルノデアル、其事ハ大藏大臣ガ委員會言明ヲシテ居ル事ニ依リテ居ル、即チ其金額ニハマダ多少ノ出入ガアルガ、吾々ノ見ル所ニ於テ大體分テ程度ニ於テハ、軍事費ノ如キハ一箇月ニ維持費ダケデモ千二百万圓ト云ハレテ居ルノデアリマスカラ、一年ニハ一億四千万圓募債セラレナケレバナラヌ、又公債ヲ賄フテ行クト云フ以上ハ、公債ノ差損ト云フモノガ出テ來ルカランテ、ソレヲ合セルナラバ一億八千万圓ニナリマセウ、ソレハ、軍事公債ヲ御募リニナルト云フ、又産業五箇年計畫ト云フモノヲ御ヤリニナルカドウカト云フ事ヲ尋ネテ見レバ、ヤルト言ハレテ居ル、是モ豫定通りヤルナラバ、一億圓以上ノモノガ要ルノデアリマセウカ、又失業公債モ要リマス、其外ニ不成立豫算ニ出タ所ノ電信、電話、震災、道路及ビ歳入ノ缺陷ヲ補填スルガ爲ニハ、一億二千三百万圓ト云フモノハ要ル、又特別會計ニ於テハ鐵道、朝鮮、臺灣、是等ノ方ノ公債ヲ合セバ大體ミニ見テモ七八千万圓ハ要ル、更ニ金ノ再禁止ヲセラレマシタ結果、爲替ノ差損ト云フモノガ出テ來テ居リマスカラ、外國債ノ利拂ヲ爲スニ對スル支拂ヤ、外國ノ人件費ヲ賄ヒ、物件費ヲ賄フ所ノ損失ガ少クトモ三四千万圓ハ出テ來ルデアリマセウ(拍手)殊ニ所謂通貨ノ膨脹ヲ圖ルト云フ事ヲ主義ニ致シテ居ラレテ、爲替ノ反動カラ來ル所ノ一割内外ノ物價騰貴ト云フモノハ、七年度豫算ニ普通財源以外ニ見ナケレバナラヌモノデアリマス、物件費ニ至テハ、三億八千万圓ト云フ物件費ノ一割延ビテモ三千八百万圓、一割五分延ビレバ五千萬圓ト云フ公債ガ要ル譯デア

シナケレバナラヌ内國債ノ借換ガ一億四千万圓程アル、滿鐵ノ社債ノ借換、是亦五千九百万圓アル、是ハ借換ガ利カヌヤウデアテ、モウ返ス債リデ政府モ掛テ居ルヤウデアリマスガ、現金ガ要リマス、是等ノモノヲ見マスルナラバ、大體ミニシテ茲ニ七億ノ公債ハドウシテモ避ケルコトノ出來ナイコトニナルノデアリマスルガ、此公債増發ヲ向フニ見テ、減債基金ノ繰入停止ヲ爲スト云フニ至テハ、是ハ驚キ入タ政策デアルト言ハナケレバナラヌ(拍手)

要リマス、此差ガ一千万圓内外ノ差損ガ生ズルノデアアルガ、其差損ハ一般會計デ賄テ、國民ノ一大家ノ負擔ニナルト云フニ至テハ、私共ハ是ハ容易ナ事デナイト謂ハナケレバナラヌト思ヒマス(拍手)募集條件ノ惡クナルコトガ、國民ノ負擔ニ轉嫁シテ參ルコトハ爭フコトハ出來ナイノデアアル、高橋サンノ仰シヤル御議論ノ中デ、公債ヲ新シウ募集スルコトハ出來ナイカラ仕方ガナイ、隨テ減債基金ノ一時繰入停止ヲヤルヨリ外、仕方ガナイト仰シヤル、ソレモ六年度限りデ、已ムヲ得ナイ時ニオヤリニナタナラバ、吾々ハサウ無理ナ事ヲ申サヌノデアリマスガ、七年度ニモ、又其年度ノ後ニモ、際限ナクオヤリニナルト云フコトヲ言ハレテ、其ノ期限ヲ示サナイ、前政友會内閣ノ時分ニハ、期限ヲ示サレタノガ、今度ハ期限ヲ示サレナイノデアリマ

濟マス云フ譯ニハ參リマセヌカラ、餘儀ナクハ私共ハ承認ヲ與ヘルノデアリマシガ、ドウシテモ兌換停止ヲヤテ不換紙幣ニシタ結果ト云フモノハ、勢ヒ通貨ノ膨脹ハ避ケラレナイ、殊ニ先程舉ゲマシタ所ノ、公債ノ増發ハ避ケラレナイ形勢ニナテ居リマスル關係上、通貨ガ膨脹ヲ致シマス、所謂正貨ノ基礎ヲ有クナイ通貨ガ膨脹致シマスナラバ、此結果ト云フモノハ、物價ヲ騰貴セシムルコトハ是ハ爭ハレナイ、私共ハ其通貨増發ノ程度ヲ獨逸ノ例ニ取ツテ、佛蘭西ノ例ニ取ル迄モナク、其割合ノ程度ハ如何デアラウトモ、此通貨膨脹ノ結果ハ物價ノ騰貴ヲ生ズルコトハ爭フコトハ出來ナイ、物價ノ騰貴ヲ招來シテ、定時收入ガ増進シナイデ、物價ノミガ騰貴ヲ致シタナラバ、國民生活ハ脅威セラレヨリ外ニ途ガナイト云フコトニナルノデアリマス、吾々ハ此點ニ付テ深キ考慮ヲ用ヒテ載キタイト云フ意味カラ、此點ニ付テノ希望ヲ述ベナケレバナラヌ

更ニ其與ヲ考ヘテ見レバ、再金輸出禁止ヲオヤリニナテ、政府ノ豫想サレテ居リマシ通リノ結果ガ茲ニ現ハレテ居ルナラバ私共何ヲカ言ハン、併ナガラ再禁止ヲ行ハレタ結果ハドウデアリマス、政府ノ聲明ヲ悉ク裏切テ居ル(拍手)是ハ何トシテモ爭ヘレヌ所ノ事實デス、數字ハ何トシテモ爭フコトガ出來ナイ、貿易ノ數字ノ如キハ、今日三月中旬ノ現計デ押ヘテモ一億二千八百万圓ノ輸入超過、昨年ノ二千万圓ノ輸入超過ニ比較致シマスナラバ、一億萬圓以上輸入ノ關係カラ差ガ出テ居ル、是ハ見越輸入デアルト云フコトハ、私共能ク知テ居ルガ、此見越輸入ハ何カラ來テ居ルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、見越輸入ガ見越輸入デ止ラナイハ、爲替ガ三十二弗カラマダ下テ、二十五弗マデ下ルト云フ爲替安ヲ見越シテ、見越輸入デアルト謂ハナ

集セラレ上ニ於テ、非常ナ不利益ナ條件ニナルコトハ爭フコトハ出來マセヌ、其不利益ノ條件ニナルカナラヌカト云フコトハ、今月以降少クトモ一箇年ノ間ヲ試シテ見レバ、前内閣ノ公債ヲ募集シタ時ノ條件ト、今度ノ内閣ノ條件トド、ドチガ惡イカト云フコトハ、一年試シテ御覽ニナレバ明カニナル事デアルト言ハナケレバナラヌ(拍手)私ハ其時ガ來ルト思フノデアアル、減債基金制度ト云フモノヲ維持シテ置イテ、公債ノ募集條件ノ惡イ時買上ラシテ行ク、ソレヲ買上ラシテ行ケバ有利ニ公債發行價格ヲ維持スルコトハ出來ル、其事ガ出來ルノデアアルカラシテ、斯様ニ澤山ノ公債ヲ募集ナサル時ハ、減債基金ノ幅ヲ擴ゲル必要コソアレ、之ヲ狹メルト云フニ至テハ、公債政策ノ根柢ヲ打毀スモノデアルト謂ハナケレバナラヌノデアアル(拍手)斯様ナコトニテ發行價格ガ惡クナテ、其利率ノ割合ガ餘計ナモノヲ拂ハナケレバナラヌト云フコトニナルノデアアルガ、是ガ國民負擔ニ轉嫁シテ參ルノデアリマス、即チ大體今日ノ公債ノ割合カラ見マスルナラバ、先ヅ以テ五分七厘程度デ募集ガ出來テ居ル、是デ以テ新シイ公債ヲ募集スルナラバ、ドノ位利息ガ掛ルカト云ヘバ、約五千万圓位ニ上ルト思ヒマス、是ガ七分近クデナケレバ、公債ガ募集出來ナイトナレバ、六千万圓モ

要リマス、此差ガ一千万圓内外ノ差損ガ生ズルノデアアルガ、其差損ハ一般會計デ賄テ、國民ノ一大家ノ負擔ニナルト云フニ至テハ、私共ハ是ハ容易ナ事デナイト謂ハナケレバナラヌト思ヒマス(拍手)募集條件ノ惡クナルコトガ、國民ノ負擔ニ轉嫁シテ參ルコトハ爭フコトハ出來ナイノデアアル、高橋サンノ仰シヤル御議論ノ中デ、公債ヲ新シウ募集スルコトハ出來ナイカラ仕方ガナイ、隨テ減債基金ノ一時繰入停止ヲヤルヨリ外、仕方ガナイト仰シヤル、ソレモ六年度限りデ、已ムヲ得ナイ時ニオヤリニナタナラバ、吾々ハサウ無理ナ事ヲ申サヌノデアリマスガ、七年度ニモ、又其年度ノ後ニモ、際限ナクオヤリニナルト云フコトヲ言ハレテ、其ノ期限ヲ示サナイ、前政友會内閣ノ時分ニハ、期限ヲ示サレタノガ、今度ハ期限ヲ示サレナイノデアリマ

更ニ其與ヲ考ヘテ見レバ、再金輸出禁止ヲオヤリニナテ、政府ノ豫想サレテ居リマシ通リノ結果ガ茲ニ現ハレテ居ルナラバ私共何ヲカ言ハン、併ナガラ再禁止ヲ行ハレタ結果ハドウデアリマス、政府ノ聲明ヲ悉ク裏切テ居ル(拍手)是ハ何トシテモ爭ヘレヌ所ノ事實デス、數字ハ何トシテモ爭フコトガ出來ナイ、貿易ノ數字ノ如キハ、今日三月中旬ノ現計デ押ヘテモ一億二千八百万圓ノ輸入超過、昨年ノ二千万圓ノ輸入超過ニ比較致シマスナラバ、一億萬圓以上輸入ノ關係カラ差ガ出テ居ル、是ハ見越輸入デアルト云フコトハ、私共能ク知テ居ルガ、此見越輸入ハ何カラ來テ居ルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、見越輸入ガ見越輸入デ止ラナイハ、爲替ガ三十二弗カラマダ下テ、二十五弗マデ下ルト云フ爲替安ヲ見越シテ、見越輸入デアルト謂ハナ

更ニ其與ヲ考ヘテ見レバ、再金輸出禁止ヲオヤリニナテ、政府ノ豫想サレテ居リマシ通リノ結果ガ茲ニ現ハレテ居ルナラバ私共何ヲカ言ハン、併ナガラ再禁止ヲ行ハレタ結果ハドウデアリマス、政府ノ聲明ヲ悉ク裏切テ居ル(拍手)是ハ何トシテモ爭ヘレヌ所ノ事實デス、數字ハ何トシテモ爭フコトガ出來ナイ、貿易ノ數字ノ如キハ、今日三月中旬ノ現計デ押ヘテモ一億二千八百万圓ノ輸入超過、昨年ノ二千万圓ノ輸入超過ニ比較致シマスナラバ、一億萬圓以上輸入ノ關係カラ差ガ出テ居ル、是ハ見越輸入デアルト云フコトハ、私共能ク知テ居ルガ、此見越輸入ハ何カラ來テ居ルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、見越輸入ガ見越輸入デ止ラナイハ、爲替ガ三十二弗カラマダ下テ、二十五弗マデ下ルト云フ爲替安ヲ見越シテ、見越輸入デアルト謂ハナ

更ニ其與ヲ考ヘテ見レバ、再金輸出禁止ヲオヤリニナテ、政府ノ豫想サレテ居リマシ通リノ結果ガ茲ニ現ハレテ居ルナラバ私共何ヲカ言ハン、併ナガラ再禁止ヲ行ハレタ結果ハドウデアリマス、政府ノ聲明ヲ悉ク裏切テ居ル(拍手)是ハ何トシテモ爭ヘレヌ所ノ事實デス、數字ハ何トシテモ爭フコトガ出來ナイ、貿易ノ數字ノ如キハ、今日三月中旬ノ現計デ押ヘテモ一億二千八百万圓ノ輸入超過、昨年ノ二千万圓ノ輸入超過ニ比較致シマスナラバ、一億萬圓以上輸入ノ關係カラ差ガ出テ居ル、是ハ見越輸入デアルト云フコトハ、私共能ク知テ居ルガ、此見越輸入ハ何カラ來テ居ルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、見越輸入ガ見越輸入デ止ラナイハ、爲替ガ三十二弗カラマダ下テ、二十五弗マデ下ルト云フ爲替安ヲ見越シテ、見越輸入デアルト謂ハナ

更ニ其與ヲ考ヘテ見レバ、再金輸出禁止ヲオヤリニナテ、政府ノ豫想サレテ居リマシ通リノ結果ガ茲ニ現ハレテ居ルナラバ私共何ヲカ言ハン、併ナガラ再禁止ヲ行ハレタ結果ハドウデアリマス、政府ノ聲明ヲ悉ク裏切テ居ル(拍手)是ハ何トシテモ爭ヘレヌ所ノ事實デス、數字ハ何トシテモ爭フコトガ出來ナイ、貿易ノ數字ノ如キハ、今日三月中旬ノ現計デ押ヘテモ一億二千八百万圓ノ輸入超過、昨年ノ二千万圓ノ輸入超過ニ比較致シマスナラバ、一億萬圓以上輸入ノ關係カラ差ガ出テ居ル、是ハ見越輸入デアルト云フコトハ、私共能ク知テ居ルガ、此見越輸入ハ何カラ來テ居ルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、見越輸入ガ見越輸入デ止ラナイハ、爲替ガ三十二弗カラマダ下テ、二十五弗マデ下ルト云フ爲替安ヲ見越シテ、見越輸入デアルト謂ハナ

更ニ其與ヲ考ヘテ見レバ、再金輸出禁止ヲオヤリニナテ、政府ノ豫想サレテ居リマシ通リノ結果ガ茲ニ現ハレテ居ルナラバ私共何ヲカ言ハン、併ナガラ再禁止ヲ行ハレタ結果ハドウデアリマス、政府ノ聲明ヲ悉ク裏切テ居ル(拍手)是ハ何トシテモ爭ヘレヌ所ノ事實デス、數字ハ何トシテモ爭フコトガ出來ナイ、貿易ノ數字ノ如キハ、今日三月中旬ノ現計デ押ヘテモ一億二千八百万圓ノ輸入超過、昨年ノ二千万圓ノ輸入超過ニ比較致シマスナラバ、一億萬圓以上輸入ノ關係カラ差ガ出テ居ル、是ハ見越輸入デアルト云フコトハ、私共能ク知テ居ルガ、此見越輸入ハ何カラ來テ居ルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、見越輸入ガ見越輸入デ止ラナイハ、爲替ガ三十二弗カラマダ下テ、二十五弗マデ下ルト云フ爲替安ヲ見越シテ、見越輸入デアルト謂ハナ

更ニ其與ヲ考ヘテ見レバ、再金輸出禁止ヲオヤリニナテ、政府ノ豫想サレテ居リマシ通リノ結果ガ茲ニ現ハレテ居ルナラバ私共何ヲカ言ハン、併ナガラ再禁止ヲ行ハレタ結果ハドウデアリマス、政府ノ聲明ヲ悉ク裏切テ居ル(拍手)是ハ何トシテモ爭ヘレヌ所ノ事實デス、數字ハ何トシテモ爭フコトガ出來ナイ、貿易ノ數字ノ如キハ、今日三月中旬ノ現計デ押ヘテモ一億二千八百万圓ノ輸入超過、昨年ノ二千万圓ノ輸入超過ニ比較致シマスナラバ、一億萬圓以上輸入ノ關係カラ差ガ出テ居ル、是ハ見越輸入デアルト云フコトハ、私共能ク知テ居ルガ、此見越輸入ハ何カラ來テ居ルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、見越輸入ガ見越輸入デ止ラナイハ、爲替ガ三十二弗カラマダ下テ、二十五弗マデ下ルト云フ爲替安ヲ見越シテ、見越輸入デアルト謂ハナ

更ニ其與ヲ考ヘテ見レバ、再金輸出禁止ヲオヤリニナテ、政府ノ豫想サレテ居リマシ通リノ結果ガ茲ニ現ハレテ居ルナラバ私共何ヲカ言ハン、併ナガラ再禁止ヲ行ハレタ結果ハドウデアリマス、政府ノ聲明ヲ悉ク裏切テ居ル(拍手)是ハ何トシテモ爭ヘレヌ所ノ事實デス、數字ハ何トシテモ爭フコトガ出來ナイ、貿易ノ數字ノ如キハ、今日三月中旬ノ現計デ押ヘテモ一億二千八百万圓ノ輸入超過、昨年ノ二千万圓ノ輸入超過ニ比較致シマスナラバ、一億萬圓以上輸入ノ關係カラ差ガ出テ居ル、是ハ見越輸入デアルト云フコトハ、私共能ク知テ居ルガ、此見越輸入ハ何カラ來テ居ルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、見越輸入ガ見越輸入デ止ラナイハ、爲替ガ三十二弗カラマダ下テ、二十五弗マデ下ルト云フ爲替安ヲ見越シテ、見越輸入デアルト謂ハナ

更ニ其與ヲ考ヘテ見レバ、再金輸出禁止ヲオヤリニナテ、政府ノ豫想サレテ居リマシ通リノ結果ガ茲ニ現ハレテ居ルナラバ私共何ヲカ言ハン、併ナガラ再禁止ヲ行ハレタ結果ハドウデアリマス、政府ノ聲明ヲ悉ク裏切テ居ル(拍手)是ハ何トシテモ爭ヘレヌ所ノ事實デス、數字ハ何トシテモ爭フコトガ出來ナイ、貿易ノ數字ノ如キハ、今日三月中旬ノ現計デ押ヘテモ一億二千八百万圓ノ輸入超過、昨年ノ二千万圓ノ輸入超過ニ比較致シマスナラバ、一億萬圓以上輸入ノ關係カラ差ガ出テ居ル、是ハ見越輸入デアルト云フコトハ、私共能ク知テ居ルガ、此見越輸入ハ何カラ來テ居ルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、見越輸入ガ見越輸入デ止ラナイハ、爲替ガ三十二弗カラマダ下テ、二十五弗マデ下ルト云フ爲替安ヲ見越シテ、見越輸入デアルト謂ハナ

更ニ其與ヲ考ヘテ見レバ、再金輸出禁止ヲオヤリニナテ、政府ノ豫想サレテ居リマシ通リノ結果ガ茲ニ現ハレテ居ルナラバ私共何ヲカ言ハン、併ナガラ再禁止ヲ行ハレタ結果ハドウデアリマス、政府ノ聲明ヲ悉ク裏切テ居ル(拍手)是ハ何トシテモ爭ヘレヌ所ノ事實デス、數字ハ何トシテモ爭フコトガ出來ナイ、貿易ノ數字ノ如キハ、今日三月中旬ノ現計デ押ヘテモ一億二千八百万圓ノ輸入超過、昨年ノ二千万圓ノ輸入超過ニ比較致シマスナラバ、一億萬圓以上輸入ノ關係カラ差ガ出テ居ル、是ハ見越輸入デアルト云フコトハ、私共能ク知テ居ルガ、此見越輸入ハ何カラ來テ居ルカト云フコトヲ考ヘナケレバナラヌ、見越輸入ガ見越輸入デ止ラナイハ、爲替ガ三十二弗カラマダ下テ、二十五弗マデ下ルト云フ爲替安ヲ見越シテ、見越輸入デアルト謂ハナ

ケレバナラヌ、爲替安ノ見越輸入ガ止ラナ
イ以上ハ貿易ノ「バランス」ガ悪クナルコト
ハ争フコトガ出来マセヌ、殊ニ輸出ノ關係
ヲ見テモ、爲替ガ悪クナレバ輸出ガ良クナ
ルト云フコトヲ仰シヤタケレドモ、輸出ハ
少シモ良クナリマセヌ、何故ニ輸出ガ良ク
ナラヌカト云フト、所謂爲替安ヲ見込シテ、
マダ下ガルト云フコトヲ見込シテ居ルカ
ラ、商談ガ見送ラレテ居ルト云フコトハ争
ハレナイ所ノ事實デアアルト思フ(拍手)

今日爲替ガ三十二弗マデ下ツタ、此三十二
弗ニ下ツタ爲替ガ、是ガ爲替ノ正シイ値段デ
アルカドウカ、此爲替ノ値段ト云フモノハ
何ガ標準デアアルカト云ヘバ、大藏大臣ノ説
明ヲ承リマス、其國ノ生産實力ガ爲替ニ
反映シテ居ル、即チ其國ノ生産實力ガ爲替
ニ反映シテ居ルナラバ、金ノ再禁止ヲ御ヤ
リニナツテ、段々爲替ガ悪クナルト云フコト
ハ、國ノ實力ノ衰退ヲ證明シテ居ルト云フ
コトニナルノデアアル、是ハ高橋サンノ説明
ヲ拜借シテ私ハ説明ヲ加ヘタノデアアル、何
ヲ措置イテモ、爲替ノ安定ヲ圖ルト云フコ
トガ一番大切な要件デアアルト謂ハナケレバ
ナラヌ、爲替ノ安定ヲ圖ルト云フノハ如何
ナル方法デアアルカト云ヘバ(民政黨ガ釣上
ゲタノダ)「ト呼フ者アリ」民政黨ガ釣上
ト仰シヤイマスケレドモ、民政黨内閣ニナル
前ハ四十四弗デアツテ、今日ハ三十二弗ニ下
タノデアツテ、ソレダケ低下ヲ致シタト云フ
コトハ、現内閣ノ下ニ於ケル生産實力ノ現
ハレデアアルト謂ハナケレバナラヌ(拍手)

吾々ハ左様ナ意味デアリマスカラシテ、
此點ニ付テハドウシテモ同意ハ出来ナイ、
故ニ私ハ切下ガ解禁ヲ行ハレテモ、或ハ爲
替管理ヲオヤリニナツテモ、其方法ハ示シマ
セヌガ、爲替ノ安定ヲ圖ルト云フ必要ガア
ル、爲替ノ安定ヲ圖ルノニハ、所謂爲替管
理ヲ第一ニヤラナケレバナラヌト思フ、爲
替管理ヲヤルノニハ、金ガナクツテモ、爲替
管理ハ出来マス、資本ノ逃避ヲ避ケルコト

ハ、其第一ノ手段デアアル、資本ノ逃避ヲ避ケ
ルノニハ、弗買ヲシタ者ニ課税ヲスルト云
フコトモ、資本ノ逃避ヲ避ケル第一ノ方法
デアアル、又輸出入爲替ヲ調節シテ、法律命
今ノ力デ以テ、輸出入爲替ヲ調節シテ行クト
云フコトハ、爲替管理ノ作用ニ依ツテ行ハレ
ルノデアツテ、現内閣ハ急イデ爲替管理ヲ行
フカ、或ハ平價切下ゲヲ行フカ、又其他ノ
方法ニ依ルカ、何レニシテモ爲替ヲ安定セ
シムベシト云フコトガ必要デアアルト云フ意
見ヲ提示致シテ、私ハ此案ニ對シテ賛成ヲ
致ス者デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 木暮武太夫君

○木暮武太夫君 木暮武太夫君登壇
(木暮武太夫君登壇)
私ハ只今議題トナツテ居
リマスル勅令ニ對シテ、承諾ヲ與フベシト
スル議論ヲ致ス者デアリマス、先ツ議論ノ
順序ト致シマシテ、私ハ私ガ何ガ故ニ本勅
令ヲ承諾スベキコトニ同意致ス所ノ賛成演
説ヲナスカト云フコトノ趣旨ヲ辯明致シマ
シテ、最後ニ只今川崎君カラ御述ベナリ
マシタ所ノ御議論ニ對シマシテ、聊カ見解
ヲ異ニ致シテ居ル點ニ付テ、辯明致シタイ
ト思フノデアリマス、事ヤ苟モ公債政策ノ
根幹ニ係ル問題デアリマスルカラ、ドウゾ
反對ト賛成ノ如何ヲ論ゼズ、暫ク御謹聽ノ
程ヲ希望致シテ置ク者デアリマス

御承知ノ通り前ノ内閣ノ誤タル金解禁
ト(ノー)「」時勢ニ逆行致シマシタ所ノ
低物價政策ニ依リマシテ、我國國庫ノ歳入
ト云フモノハ、逐年激減致シテ居タト云
フ事實ハ、恐ラクハ民政黨ノ諸君ト雖モ否
ムコトノ出来ナイ所ノモノデアラウト思フ
ノデアリマス(拍手)昨年未解散議會ニ提出
サレマシタ所ノ豫算ニ見マシテモ、一般歳
入ニ於キマシテ、前年度ニ比シ、一億五千
万圓ノ減收ヲ見タヤウナ状態デアリ、殊ニ
前ノ若槻内閣ガ、昭和七年度豫算ヲ御編成
ニナリマシタ其内容ヲ見マスルト、豫テ借
金亡國論ヲ唱ヘテ、非暴債主義ヲ一貫シテ

居タ、其民政黨内閣ニ於テ、一億三千万圓
ノ公債ヲ募リ、而モ疲弊困憊セル此經濟界
ニ向ツテ、五千六百万圓ノ増税ヲ爲スニア
ラザレバ、此豫算ノ辻褄ヲ合スコトガ出来
ナイト云フヤウナ事實ハ、如何ニ我國國庫
ノ歳入ガ逐年激減致シテ居タカト云フ事
實ヲ證明シテ餘リガアルト私ハ考ヘテ居
ルノデアリマス

諸君、斯ノ如ク如何ニ民政黨ノ諸君ガ御
反對ニナリマシテモ、事實ハ金解禁禁低物
價政策ニ依ツテ、國民經濟ガ萎靡沈滞致シマ
シタ結果、國庫收入ガ段々ト減ツテ來テ、歳
入ガ激減シテ來タ、ソコデ此難局ニ立チマ
シタ場合ニ、政府ガ此減債基金ノ繰入ノ停
止ヲ致シマセヌケレバドウスルカ、即チ公
債ヲソレダケ餘計ニ募集スルカ、或ハアナ
タ方ガ計畫致シタヤウニ、増税スルニアラ
ザレバ出来ナイト云フ状態デアアリマセヌ
カ、即チ先ツ減債基金ノ……

〔内容ヲ言ヘ「ト呼ヒ其他發言スル者
多シ〕

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○木暮武太夫君(續) 減債基金ノ繰入レノ
停止ヲ致シマセヌデ、公債ヲ募集スルト云
フコトニ致シマシテモ、御承知ノ通りニ減
債基金ノ制度ト云フモノハ、國債ヲ減少セ
シムル爲ニ特別會計ヲ作ツテ、一般歳入カラ
是ニ相當ノ金額ヲ年々入レテ、サウシテ減
債ノ目的ヲ達スルコトガ、之ガ所謂此基金
制ノ根本ノ觀念デアアル、即チ借金ヲ減ラス
爲ニ減債基金ノ制度ガアルノニ、其ノ借金
減ラシノ元金ヲ補充スル爲ニ借金ヲスルト
云フノハ、是ハ矛盾デアアルト私共ハ考ヘテ
居ルノデアリマス(拍手)

更ニ又増税ヲヤルト云フコトニナレバ諸
君ドウデアリマセウカ、御承知ノ通りニ民
政黨ノ内閣ニ依ツテ、舊平價解禁ガ行ハレ
タ、只今川崎君カラモ、貨幣價值ノ變動ノ
御話ガアリマシタガ、民政黨ノ内閣ノ時ニ
ハ、只今トハ違フテ貨幣價值ガ逆ニ變動シ

テ、貨幣價值ガ上ツタノデアリマス、即チ貨
幣價值ガ上リマシタ場合ニハ、現金納付ニ
依ル現在ノ納税制度ノ下ニ於テハ、國民ハ
議會ノ協賛ヲ經ズシテ、知ラナイ間ニ一種
ノ、相對的ノ増税ヲ行ハレテ居ルト云フ現
狀デアアリマセヌカ、斯ノ如キ場合ニ於キ
マシテ、絕對數ニ於テ増税ヲスルト云フガ
如キコトハ、二重三重ノ増税ヲナスモノデ
アルト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス(拍
手)故ニ此減債基金ノ繰入ノ停止ヲシテ、サ
ウシテアナタ方ガ計畫シタヤウニ、金ガ足
リナケレバ増税ニ依ツテモ宜カラウト云フ
ケレドモ、國民トシテハ迷惑千萬ノ話デア
リマス(ノー)「」現在ノ趨勢ニ逆行シタ
所ノ低物價政策ヲ採ラレテ、國民ガ汗水垂
ラシタ產物ハ、市場ヘ出セバドン(叩カ
レシマフ、一方デハ税金ハ下ラナイ、國
民ノ收入ハ減ズル、相對的ニ一種ノ増税ヲ
受ケテ居ル上ニ、更ニ絕對數ニ於テ増税ヲ
甘受スルト云フコトハ、斷ジテ國民ノ忍ビ
得ザル所デアアルト私共ハ信ジテ居ルノデ
アリマス、サウ考ヘテ見ルナラバ、即チ此
際ニ於キマシテハ、民政黨内閣ノ後始末ヲ
付ケテ、歳入ノ激減ヲ受ケタ政府ニ於キマ
シテ、減債基金ノ一部ノ繰入ノ停止ヲナス
ト云フコトハ、財政上當然ノ結論デアアルト、
私共ハ信ジテ居ルノデアリマス(拍手)

更ニ又委員會ニ於キマシテモ、色々御議
論ガアリマシタガ、減債基金ノ繰入停止ニ
依リマシテ、價格ノ上ニ於テ何カノ影響ヲ
及ボスモノデハナイカ
(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○木暮武太夫君(續) マア少シ靜ニ聽キ給
ヘー 委員會ニ於キマシテモ、減債基金繰
入停止ニ依リマシテ、公債ノ市價ニ惡イ影
響ヲ及ボスノデハナカラウト云フ、國家
財政ニ對スル、色々御親切ノ御質問ガ澤
山アツタノデアリマス、併ナガラ申ス迄モナ
ク公債ノ價格ハ、所謂返還ノ一點ノミニ依

テ價格ガ決定スルモノデハゴザイマス、申ス迄モナク國家ノ信用デアル、國民經濟ノ力デアル、或ハ公債其モノ、所謂性質、生産的ノ信用ニ依テヤルノカ、不生産的ノ信用ニ依テヤルノカト云フコトヤ、或ハ公債ニ對スル國家ノ優遇ノ方法、是等ノモノガ公債ノ價格ヲ相當ニ決定スル所以デアルコトヲ考ヘテ見マシタラバ、公債價格ノ點ノミヲ以チマシテ、減債基金繰入停止ヲ反對スル所ノ理由ニハナラヌト私共ハ考ヘテ居ルノデアリマス(拍手)

結論致シマスルノニ、此減債基金ハ増シ得ルナラバ増スト云フコトハ、是ハ宜イノダ、誰ガ考ヘテモ當リ前ノ話ダ、制度ガアル以上ハ、併シ只今話シタヤウニ、歳入ハ逐年缺陷ヲ生ジテ來テ、借金ヲ済スノ元金ヲ積立ル爲ニ又借金ヲスルコト云フヤウナコトヲスルコトハ、私共ハ採ラザル所デアルト、斯ウ申上グルノデアリマス、ソコデ減債基金ノ繰入停止ト云フコトノ已ムベカラザルト云フ結果ハ、申スマデモナク過去二年半ニ於ケル所ノ、民政黨内閣ノ誤タ經濟政策ノ結果ノ尻拭ヒノ一端デアルト申上ガテモ私ハ差支ナイト思フ(拍手)

更ニ私ハ只今川崎君カラ御話ニナリマシタ御議論ノ一二ノ點ニ付テ反駁致シテ見タイト思フノデアリマス、川崎君ハ只今此勅令ヲ見テ、永久ニ減債基金繰入ヲ停止スルノデアラント云フヤウナ、押付ケタ御議論ヲ爲スト、御反對ノ理由ノ一ツニ爲スト、併シソレハ大藏大臣ノ御答辯ノ聽損ヒデアリマス、即チ財界ガ直ッテ、日本ノ財政ノ國庫歲入ト云フモノガ順調ニナッテ、過去二年半民政黨内閣ノ時代ノ如キモノデナクナッタラバ、此繰入停止ト云フコトヲヤラズニ、相當ニヤルト云フコトハ、其答辯ノ中ニ明デアルト私共ハ信ジテ居ルノデアリマス(拍手)更ニ又減債基金ノ停止ヲ致シマシテ、今マデノ公債所有者ニ對スル所ノ

契約ヲ裏切ルヤウナ結果ニナレバ、國ノ信用ニ關ハルト云フヤウナコトヲ仰セラレマシタクレドモ、併シ經濟的ノ國ノ信用ト云フモノハ、寧ロコンナコトヨリモ、日本ノ經濟界ガ良クナリ、産業ガ盛ニナルト云フコトニ依テ高マルノデ、アナタ方冷靜ニ御考ヘナサイ、日本銀行ノ金ガ七億ニ減タガドンナニ日本ノ信用ヲ害シタカト云フコトヲ御考ヒタイノデアリマス(拍手)

更ニ又川崎君ノ只今ノ御議論ノ中デハ大分通貨膨脹ニ對スル御反對ガアリマシタ、所謂「インフレーション」ニ對スル反對ガアリマシタ、私ハ通貨膨脹ニ對シテノ反對ハ、全ク見當違ヒダト思フ、御承知ノ通り英吉利デモ、亞米利加デモ、何處デモ、「デフレーション」政策ト云フモノハ、此處數年ノ間失敗シタノデアリマセヌカ、即チ昔ノヤウニ「デフレーション」政策デ以テ「コスト」ガ切下グラレルヤウナ時代ナラバ、「デフレーション」政策ト云フモノハ是ハ宜イカモ知レナイ、今日ノヤウニ企業ガ發達シテ來テ、所謂獨占價格ト云フモノガ方々ニ形成セラレテ、如何ニ通貨ヲ縮小致シマシテ、物ノ値ヲ下ゲヨウトシテモ下ガラナイ、或ハ電燈料デアルトカ、或ハ煙草ノ値段デアルトカ、汽車賃デアルトカ、或ハ税金デアルトカ、獨占的ノ價格ト云フモノ、幾多ノモノガ下ラナイ狀態ニ於キマシテハ「デフレーション」政策ト云フモノハ、是ハ失敗デス(拍手)即チ今日ノヤウナ複雑ナ「カルテル」ヤ「プール」ガ盛ニナッタ時代ニ於テハ「デフレーション」政策ヲ執リヨリハ、寧ロ「インフレーション」政策ヲ執ル、サウシテ或ル程度採算ノ引合フヤウニ、生産費ノ償フヤウニ、物ノ値段ヲ維持スルコト云フコトガ私共ハ必要デアルト思フ(拍手)是ハ見解ノ相違デアリマスカラ已ムヲ得マセヌ、併シサウ云フ「デフレーション」政策ガ宜イト云フヤウナ考ヲ以テ、二年半政治ヲ御執リニナッテ居、タコトガ、民政黨ノ非常ナル失敗デアッ

タト私共ハ考ヘル(拍手)

諸君、更ニ貿易ノコトヲ川崎君カラ色々御話ニナッタ、昨日モ田中君カラ貿易ノ點ニ付テ色々御話ガゴザイマシタクレドモ、成程爲替ハ下ッタクレドモ入超ハ止マナイ、是ハ一ツハ見越輸入デアリマセウ、貿易狀態ガ思フヤウニ行カナカッタ、斯ウ云フノデアリマスクレドモ、併シ是ハ爲替ガ下ラダラウト云フ見越輸入モアリマセウシ、御承知ノ通り日本ノ貿易ノ、隨分強イ力ヲ有、テ居リマス所ノ對支貿易、即チ支那ニ對シテ、是ハ餘程制引シテ考ヘテ貰ハナケレバナルマイト思フ、支那ニ戰爭ガアッテ、サウシテ初メノ約束通り行カヌカラ、ソレハオ前ナドノ言フ通りニナラヌノデヤナカラウカト云フコトハ、是ハ議論ニハナルマイト思フ、又爲替ガ下ッタト云フコトハ、ソレダケ一種ノ關係ヲ課ケタコトニナルノデアリマスカラ、委員會ニ於キマシテ、アエタ方ガ關稅政策ヲ打倒シ、關稅ノ障礙ニ依、テ、内地産業ヲ保護シナケレバナラヌト云フ御議論ヲ御強調ニナッタ上カラ行クナラバ、此爲替ノ下ッタト云フコトニ付デハ、寧ロ贊成爲スト然ルベキモノデアラウト私共ハ考ヘルノデアリマス(拍手)

又盛ニ爲替ノコトヲ御議論ニナッテ、爲替ガ不安定デ困ル、爲替ガ不安定デ困ルト云フコトヲ仰シヤタクレドモ、成程國民經濟ニ對スル一大犧牲ヲ拂ハズシテ、爲替ノ安定ガ計畫サレ、實行サレタノナラ、爲替ノ安定結構デアリマセウ、併シ前ノ内閣ノ如クニ、國民ノ經濟ヲ衰ヘサセ、國民ヲ疲弊困憊ノドシ底ニ陥レマシテ、爲替ノ安定何レニ必要デアルカト私共ハ考ヘル(拍手)國民ト致シマシテハ、寧ロ爲替ノ不安定デ苦シムヨリモ、國民生活ノ不安定デ苦シムモノデアラウト私共ハ考ヘルノデアリマス(拍手)爲替ノ不安ト云フコトヲ能クアナタ方ハ仰シヤルケレドモ、實際爲替ノコトガ

分ッテ居ルナラバ、爲替ノ少シ位ノ「フラクチュエーション」ト云フモノハ、大シタ問題デハナイデアリマセヌカ、即チソレハ所謂爲替業者ト云フモノガ、相當「リスク」ヲ加減致シマシテ、サウシテ六十日ナリ幾日ノ間ノ先物ノ取引ガ出來マスカラ、爲替ノ不安定ト云フモノヲ事々シク取立テ、如何ニモ政府ノ失態ノ如ク論ズルト云フコトハ、少シク爲替ヲ存ジテ居ル者カラ見レバ私ハ笑止千萬ナコトデアルト考ヘルノデアリ(拍手)モウ多クノ時間ヲ有チマセヌカラ、川崎君ニ對スル反駁ハ此程度ニ致シテ置キマス

最後ニ一言誤解ヲ解ク爲ニ申上ゲテ置キマスクレドモ、川崎君ハ冒頭ニ於テ御述ニナリマシテ、委員會デ何カ非常ニ委員長ガ專斷橫暴デアリシヤウナ御話ガアリマシタ、アナタ方ノ方デ事情ノ御分リニナラヌ方ガ御考ヘニナルト、サウ云フ風ニ御考ヘニナリマス、併シ此議會ガ特別ニ短イ議會デアッテ、サウシテ圓滿協調ノ裡ニ終ラスト云フヤウナ考ノ下ニ、民政黨ノ代表ノ方々、政友會代表ノ方々ガ御相談ニナッテ、幾度カ交渉ノ結果トシテ、幾多ノ結論ヲ其處ニ見出シテ居、タノデアリマス、ソコデ東サント民政黨ノ小山サンガ御相談ノ結果、所謂兩代表ノ協定トモ申シマセウカ、ソレノ書付ガ此處ニアリマスガ、斯ウ云フコトニナッテ居ル「特別委員會ガ終了後遅クトモ本會議ヲ繼續シテ日程議シニ努力スルコト」斯ウ云フノデス、即チ特別委員會終了後……(此時發言スル者多シ)少シ御黙リナサイ、御聽ナサイ、「特別委員會終了後遅クトモ本會議ヲ繼續シ日程議シニ努力スルコト」ソコデ斯ウ云フ協定ガアルカラシテ、昨日ノ、所謂アナタ方ノ臣節問題、吾々カラ言フナラバ、最早總選舉ニ於テ解消シテ居ルヤウナ問題デサヘモ、此方ハ遠慮シテ、アナタ方ノ發言ヲ許シタヤウナ譯デアリマス、斯ウ云フ譯ガアルノデスカラ、詰リ日

委員長報告 四六

程議了ニ御努力ニナルト書付ニ書イテアル、是ハ小山君モ御存ジデアリマセウ、私モ聽イタノデスガ、實ハ議了スルト云フコトニナルト、中々ドウモ幹部軟弱ダト言ウテ、民政黨ノ代議士ハムジカシイコトヲ言フ、ソコデドンノ努力シテ行クト云フヤウナコトヲ書イテアル、日程議了ニ努力スルト云フコトヲ代表ガ御決メニナッテ置キナガラ、九人ノ通告ヲシテ、其一人ガ一時間以上モ演説スルト云フノデハ、誠意ノ認ムベキモノガ何處ニアリマスカ(拍手)具體的ノ事實カラ見テ、此協定ヲ破ツノハ、アナタ方ノ方デアルト云フコトヲ、天下ニハキリト私ハ發表致シテ置クノデアリマスカ(拍手)之ヲ以チマシテ、本勅令案ヲ承諾スベシト云フコトノ、私ノ意見ニ代ヘル次第デアリマス(拍手)

○議長(秋田清君) 是ニテ……(議長議長)必要ナシ(其他發言スル者多シ)一寸御待チナサイ、是ニテ討論ハ終リマシタ、此場合一松定吉君ヨリ議事進行ニ關シテ發言ヲ求メテ居ラレマス——發言ヲ求メテ居ラレマス、本來討論終局ノ動議ノ出タ場合ニ於テハ、議事進行ノ發言ヲ許サレバ先例デアリマス、併シ此場合ハ討論終局ノ動議ガ出タノデハナクシテ、唯討論ガ終リタ云フダケノ場合デアリマスルカラ、議長ハ一松君ニ對シテ議事進行ノ發言ヲ許ス積リデアリマス——一松定吉君

○一松定吉君 議事進行ニ關シマシテ議長ニ民政黨ヲ代表致シマシテ一言要求スルコトガアリマス、ソレハ外デモアリマセウガ、御承知ノ如ク軍事費ノ協賛ハ、最も大切ナ議案デアリマスルガ爲ニ、此議事ノ進行ニ關シマシテハ、總理大臣タル者ハ當然此議席ニ在リマシテ、之ニ參畫セラレナケレバナラヌコトハ當然デアルト思フノデアリマスガ、之ニ對シマシテノ先刻ノ議長ノ御聲明ニ依リマスレバ、只今總理大臣ハ

貴族院ニテ質疑ニ應答中デアルガ故ニ、是ガ濟ミ次第ニ本院ニ出席セラレ、トノ御聲明デアツノデアリマスガ、遂ニ此議事ノ濟ム迄御出席ナカッタコトハ、私共ノ非常ニ遺憾トスル所デアリマスケレドモ、過去タコトハ已ムヲ得ナイト致シマシテ、次ニ上程セラレマス帝都治安ニ關シマスル問題ニ付テハ、總理大臣トシテ、又内務大臣トシテ、當然此問題ニ對シマシテハ關與シテ戴カナケレバナラヌノデアリマスルカラシテ、議長ハ宜シク總理大臣ニ對シマシテ、至急ニ當院ニ出席セラレ、ヤウニ御要求アランコトヲ請求致スノデアリマス、若シ出席ガ出來ナイコトデアリマスルナラバ、其出席ノ出來ル迄、暫ク休憩ヲスルト云フコトヲ私ハ要求シテ已ミマセウ(拍手)

○議長(秋田清君) 一松定吉君ノ議事進行ニ關スル御發言ノ御趣意ハ諒承致シマシタ、是ヨリ採決ニ入リマスルガ、採決ノ順序ニ付テ一言致シマス、日程第二ノ勅令第四號ハ兌換禁止ノ件デアリマス、日程第三ノ勅令第七號ハ、減債基金ノ繰入停止ノ件デアリマス、此二件ハ各、別々ニ採決致シマス、他ノ三件、即チ日程第四、第五、第六ハ何レモ滿洲事件費ノ緊急處分ノ件デアリマスカラ、一括シテ採決致シタイト思ヒマス

○議長(秋田清君) 先ッ昭和七年勅令第四號承諾ヲ求ムル件、之ニ向ッテ承諾ヲ與フルニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

○議長(秋田清君) 起立多數、承諾ヲ與フルニ決シマシタ

○議長(秋田清君) 次ニ昭和七年勅令第七號承諾ヲ求ムル件ニ、承諾ヲ與フルニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

○議長(秋田清君) 起立多數

(拍手起ル)

○議長(秋田清君) 承諾ヲ與フルニ決シマシタ、次ニ昭和七年勅令第六號承諾ヲ求ムル件、昭和七年勅令第十四號承諾ヲ求ムル件、昭和七年勅令第十九號承諾ヲ求ムル件、此三案ヲ一括シテ採決致シマス、承諾ヲ與フルニ贊成ノ諸君ノ起立ヲ求メマス

(贊成者 起立)

○議長(秋田清君) 起立者多數、仍テ三案共承諾ヲ與フルニ決シマシタ

○原惣兵衛君 直ニ休憩セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 原君ノ動議ニ御異議ハアリマセウカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、是ニテ休憩致シマス

午後二時四十八分休憩

午後四時四十九分開議

○議長(秋田清君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス

○原惣兵衛君 議事日程追加ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ茲ニ日程ヲ追加シテ小山松壽君外十名提出、帝都治安ニ關スル緊急質問ヲ許シ、其趣旨辯明ヲ許可セラレンコトヲ望ミマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセウカ

(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍ッテ日程ハ追加セラレマシタ、帝都治安ニ關スル緊急質問ヲ上程致シマス、提出者ノ趣旨辯明ヲ許シマス——武富濟君

帝都治安ニ關スル緊急質問(小山松壽君外十名提出)

(武富濟君登壇)

○武富濟君 諸君、本員ハ茲ニ帝都治安、並ニ社會不安ニ關スル件ニ付テ、首相内相

法相及ビ文相ノ三大臣ニ質問ヲ致シマス、努メテ簡單ニ致シマスカラ、ドウゾ質問ノ趣旨ヲ、御脫漏ナク全部御答ヲ煩シタイノデアリマス

近時帝都治安ハ殆ド紊亂致シマシテ、社會ノ不安モ甚ダシイモノガアリマス、殆ド前例ノナイ程ノ事實デアリマス、一月八日ニハ警視廳ノ正門前ニ於テ彼ノ大逆罪ガ行ハレ、二月九日ニハ井上前藏相ガ暗殺セラレ、三月五日ニハ團男爵ガ同ジク兇手ニ斃レテ居ル、其他到ル處ニ強盜殺人ノ犯罪ガ行ハレテ居ル、共產黨員モ亦到ル處ニ不穩ノ行動ガアル、學生ノ多數モ頻リニ潛行運動ヲ爲シテ、多數檢舉ヲセラレテ居ル事實ガアル、流言蜚語ハ最も盛ニ行ハレテ居リマシテ、新聞ノ記事モ日夜吾々ノ目ヲ驚カスモノガアル、或ハ大逆罪ノ共犯ガアルトカ……

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ

○武富濟君(續) 血盟團ノ背後ニハ有力ナ支持者ガアルトカ、教唆、使喚ヲスルモノガ背後ニ控エテ居ルトカ、血盟團ノ外ニ尙ホ暗殺團ガ存在シテ居ルトカ、元老西園寺公方附ケ狙ハレタ事實ガアルトカ、或ハ若槻、郷兩男爵ガ危險ノ魔手ニ襲ハレントシタトカ、政友内閣ノ閣員ニシテ、吾等ノ尊敬スル床次竹二郎氏モ狙ハレテ居タトカ、三井財閥ノ巨頭デアル池田成彬氏モ怪シカッタトカ、或ハ牧野内府モ危險デアッタトカ、盛ニ傳ヘラレテ居リマス、都鄙皆此不安ノ氣令ニ蔽ハレマシテ、容易ナラザル場合デアリマシテ、實ニ聖代ノ不祥事デアルト申サナケレバナリマセウ(拍手)驚クベキハ鋼鐵製ノ「防彈チョッキ」ガ非常ニ販賣セラレテ、大養總理大臣ニ之ヲ獻納シタモノガアルト云フ、犬養首相モ喜ンデ之ヲ受納サレタト云フ滑稽ナル悲慘事ガアル(拍手)暴力ノ直接行動ハ野蠻ノ遺習デアッテ、憲政ノ破壊デアリ、法治國ノ破壊デアリマス、此勢

ニシテ底止スル所ガナカタナラバ、一體日本ノ前途ハ何トナルト諸君ハ思ハレハレ(拍手)洵ニ寒心ニ堪ヘザルモノガアリマシテ、國民ハ今ヤ戰々競々ト致シテ居ルノデアリマス、此險惡ナル世相ノ招來ハ、只單ニ一警視廳、一内務省ノ責任デハナイト思フ、實ニ政府全體ノ責任デアルト吾々ハ考ヘルノデアリマス(拍手)

仍テ茲ニ私ハ三大臣ニ向テ緊急ニ質問ヲ致シタイノデアリマスガ、先ヅ順序トシテ第一ニ司法大臣ニ御伺フシタイ、團男爵暗殺後ノ新聞記事ハ、連日一味ノ犯罪ノ内容、捜査ノ經過、甚ダシキハ被疑者ノ寫眞マデモ添ヘテ詳細ニ記事ノ掲載ガアルノデアリマス、之ニ對シテ法相ハ何ト御考ニナルノデアリマスカ、是ガ若シ新聞社ノ自發的ノ記事デアルトスラバ、何ガ故ニ記事ノ差止メヲ御命令ニナラヌノデアリマスカ、若シ警視廳又ハ檢事局ガ自ラ進ンデ發表シタルモノトシタナラバ、是ハ洵ニ不都合デアルト申サナケレバナリマセヌ(拍手)

犯人ハ逃走スルデアリマセウ、證據ノ湮滅モ行ハレレデアリマセウ、共犯者ハ隠レルデアリマセウ、或ハ之ヲ隠ス者モアリマセウ、若シ警視廳ナリ檢事局ガ之ヲ發表スルト云フコトデアルトナラバ、司法大臣トシテハ御止メニナラベキモノデアラウト思フ、若シ之ニ反シテ警視廳ナリ檢事局ナリガ、社會ノ人心ヲ緩和スル一手段トシテ、餘リニ隠シ切テ居タノデハ、疑心暗鬼ヲ生ズルノ恐レガアル、隨テ一部ノ事實ヲ發表スルガ宜シト云フ一種ノ政策ニ出テ居タルスラバ、ソレモ亦一理ガアリマセウ、デアルトナラバ、寧ロ進ンデ一切合財有ニル問題ヲ其儘ニ御發表ニナル御意見ガアルカドウカ伺ヒタイノデアリマス(發言スル者アリ)是ハ前例ガアル、嘗テ共產黨ノ事件ノ折、鈴木内務大臣、竝ニ原司法大臣ハ、此壇上ヨリ人心ノ不安ヲ一掃スルト云フ言ヒ前ノ下ニ、豫審中ノ事件ヲ悉ク

詳細ニ發表ヲナサレタル前例ガアルノデアリマス(拍手)此例ヲ追フノ御意見ガアルカナイカ

尙ホ續イテ確メテ置キタイ點ハ、彼ノ大逆犯人ニ共犯ガアルカナイカト云フ問題デアリマス、彼ハ二箇ノ爆彈ヲ所持シテ居タ、上海ニ於ケル獨立政府ニ聯絡ノアル者デアリマス、而モ上海東京間ヲ二三回往復シテ居ル事實ガアル、彼ノ貧困者ニシテ其爆彈ヲ製造スル能力モナシ、又自ラ所ナリ、旅費ノ出所ヲ考ヘマスル時ニ、必ズヤ共犯者ガアルニ相違ナイト斷スルノガ常識デアリマス、世人ハ此點ニ付テ最モ不安ニ感じテ居ルノデアルカラ、大逆犯人ニ共犯者ガアルノデアルカ、ナイノデアルカ、若シアルナラバ捕ヘラレテ居ルノデアルカ、未ダ捕ヘラレテ居ラヌノデアルカ、何ガ故ニ捕ヘヌノデアルカ、其事實ヲ承リタイノデアリマス

續イテ世間ノ最モ不審ニ考ヘテ居リマスル點ハ、所謂血盟團ナルモノニ、有力ナル黑幕ガアルヤニ新聞ノ記事ガ見エテ居ル、果シテ其様ナル支持者、背面ノ強力ナル、司法權ノ及バザル何者カ、潛在シテ居ルノデアリカドウカ、此點ヲ明瞭ニ致シタイノデアリマス(拍手)以上ハ司法大臣ニ對スル第一項ノ質問デアリマス

次ハ總理大臣ニ伺テ確メタイノデアリマスガ、抑、此大逆犯ナリ、暗殺罪ナリニ付テ起テ來ル不安ノ原因ガ、一體何處ニ在ルト總理大臣ハ思召サレタルデアアルカ(此時發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ……

○武富清君(續) 其原因ヲ究メテ是ガ對策ヲ定メルノ必要ガアル、本月ノ十七日犬養總理大臣ハ、内相トシテ内務省ニ登省セラレマシテ、高等官一同ニ對シテ訓示ヲセラレテ居ル、此原因ハ社會組織ノ缺陷ト、政治家ノ態度行動ニ在ルト認メル、左右兩系ノ

矯激運動ヲ取締リ、殊ニ暗殺團ノ行爲ニ付テハ嚴重ニ之ヲ取締ルト共ニ、政治ヲ改善致シテ社會ヲ刷新シタイモノデアルト云フ御訓示ガアツタノデアリマス、其言ハ甚ダ結構デアツテ、吾々モ亦贊成デアリマスガ、唯併ナガラ如何ニモ抽象ニ失シテ居テ、具體的ノ方策ガ示シテナイ、表面ノ言葉ハ結構デアルガ、内容ガ或ハ貧弱デアルカモ分ラヌ、ソコデ内相ハ果シテ今日ノ日本ノ社會組織ニ如何ナル缺陷ガアルト認メラレテ居ルノデアルカ、政治家ニ如何ナル責任ガアルト自覺ヲシテ居ラレタルデアルカ、内務大臣ハ如何様ニシテ此社會ヲ刷新セントスルノデアルカ、如何様ニシテ此政治ヲ改善セントスルノデアルカ、其内容ニ付テ具體的ノ對策ガアラバ承リタイノデアル(拍手)

次ニ此帝都ノ不安ヲ來シタル暗殺團ノ暴虐行爲ハ、唯單ニ一時ノ感情ノ激成ニ依テ起タルモノデアルトセラレタルデアアルカ、ソレトモ根柢ノ深イ過激思想ニ依テ居ルモノデアアルカ總理大臣ニ伺ヒタイノデアリマス、是ガ第二項デアリマス、吾々ハ其後者ニ屬スルモノト信ジテ居ル、所謂「ファシズム」ノ先驅の所業デアラウト認メマス、今ヤ我國ノ思想界ヲ流レテ居ル危險ナル二大潮流ハ、申ス迄モナク一ハ共產主義、他ノ一ハ「ファシズム」デアリマス、此「ファシズム」派ハ政黨ノ打破、財閥ノ倒壊ヲ手段トシテ、憲法ヲ否認シ、議會政治ヲ破壞セントスル、世ニモ恐ルベキ危險ノ考デアリマス、明白ニ朝憲ノ紊亂デアリ、明白ニ國體ノ變改ヲ圖テ居ルモノデアアル、政府ハ一體之ニ對シテ如何ナル意見ヲ有テ居ラル、ノデアアルカ、政友會内閣ノ取締ヲ見マスルニ、從前ノ傳統ニ因ハレテ、兎角ニ左傾派ニシテ全力ヲ注イデ、右傾團體ノ行動ニ付テハ監視ガ甚ダ寛大デアリヤウニ見エタルデアリマス(拍手)申ス迄モナク極左ト極右ハ、其觀念上相距ルコト甚ダ遠イノデアリマスガ、其内實ハ最も接近ヲ致シテ居ル、丁度元日ト大晦日ノ關係ノ如キモノデアルト思ハナケレバナラヌ(笑聲)之ニ對スル政府ノ一方ニ偏シタル取締ト云フモノガ、遂ニ間隙ヲ生ジテ、極右派ノ暴力ル恣ニスル餘地ヲ與ヘタモノデアラウカト吾々ハ考ヘル、政府ハ「ファシズム」ノ憲法政治否認、議會政治破壞、此朝憲紊亂ノ矯激思想ヲ現ニ如何様ニ取締リツ、アルノデアアルカ、詳細ニ承リタイノデアリマス、近頃ノ出版物ヲ諸君モ御覽ニナツタデアリマセウガ、餘程危險ナル思想ガ各所ニ散見ヲシテ居ル、或ハ記事ニ、或ハ評論ニ、怪シ氣ナル「ファシズム」ノ思想ト云フモノガ、頗ル自由ニ、大膽ニ掲載サレテ居ルノデアリマスガ、此出版物ノ取締ニ付テ、内務當局ハ餘リニ緩慢怠慢デハナイカ、餘程放任シテ居ラレタルデアリナイカ、將來此出版物ニ對スル取締ニ對シテ、如何様ナル考ヲ有テ居ラレタルカ確メタイノデアリマス、吾々ハ皇室ヲ中心トシテ、一君萬民ノ民衆政治ヲ徹底致シマシテ、右セズ左セズ、中央ノ大道ヲ堂々トシテ闊歩セントスル者デアリマシテ、政友會ノソレトハ聊カ趣ヲ異ニシテ居ルモノト御承知ヲ願ヒタイ(拍手)飽マデ憲法ヲ擁護シタイ、絕對的ニ議會政治ヲ維持シタイ、首相モ蓋シ御同感デアルト考ヘマスガ、近來「ファシズム」ニ對スル取締ガ餘リト言ヘバ寛大千萬デアルト云フコトカラ、多少ノ疑ヲ有テ居リマス、念ノ爲ニ御意見ヲ伺テ置キタイノデアリマス

第三項トシマシテ總理大臣ニ伺ヒタイノハ、此大逆、暗殺罪ト云フモノハ、如何ナル動機タルトハ問ハズ、思想ノ惡化ニ基クモノデアアルコトハ申ス迄モナイト信ズル、然ラバ思想ノ善導對策ヲ何ト内務大臣ハ考ヘテ居ラレタルカ、本年ノ一月十四日地方長官會議ノ席上ニ於ケル訓示ニ依レバ「思想ノ善導ハ師範教育ノ改善ニ依ツ」師範教育ノ改善ニ俟ツト云フ訓示ヲシテ居ラレバ、其迂言甚ダ嗤フニ堪ヘタリト申サナケレバ

シテ居ル、丁度元日ト大晦日ノ關係ノ如キモノデアルト思ハナケレバナラヌ(笑聲)之ニ對スル政府ノ一方ニ偏シタル取締ト云フモノガ、遂ニ間隙ヲ生ジテ、極右派ノ暴力ル恣ニスル餘地ヲ與ヘタモノデアラウカト吾々ハ考ヘル、政府ハ「ファシズム」ノ憲法政治否認、議會政治破壞、此朝憲紊亂ノ矯激思想ヲ現ニ如何様ニ取締リツ、アルノデアアルカ、詳細ニ承リタイノデアリマス、近頃ノ出版物ヲ諸君モ御覽ニナツタデアリマセウガ、餘程危險ナル思想ガ各所ニ散見ヲシテ居ル、或ハ記事ニ、或ハ評論ニ、怪シ氣ナル「ファシズム」ノ思想ト云フモノガ、頗ル自由ニ、大膽ニ掲載サレテ居ルノデアリマスガ、此出版物ノ取締ニ付テ、内務當局ハ餘リニ緩慢怠慢デハナイカ、餘程放任シテ居ラレタルデアリナイカ、將來此出版物ニ對スル取締ニ對シテ、如何様ナル考ヲ有テ居ラレタルカ確メタイノデアリマス、吾々ハ皇室ヲ中心トシテ、一君萬民ノ民衆政治ヲ徹底致シマシテ、右セズ左セズ、中央ノ大道ヲ堂々トシテ闊歩セントスル者デアリマシテ、政友會ノソレトハ聊カ趣ヲ異ニシテ居ルモノト御承知ヲ願ヒタイ(拍手)飽マデ憲法ヲ擁護シタイ、絕對的ニ議會政治ヲ維持シタイ、首相モ蓋シ御同感デアルト考ヘマスガ、近來「ファシズム」ニ對スル取締ガ餘リト言ヘバ寛大千萬デアルト云フコトカラ、多少ノ疑ヲ有テ居リマス、念ノ爲ニ御意見ヲ伺テ置キタイノデアリマス

第三項トシマシテ總理大臣ニ伺ヒタイノハ、此大逆、暗殺罪ト云フモノハ、如何ナル動機タルトハ問ハズ、思想ノ惡化ニ基クモノデアアルコトハ申ス迄モナイト信ズル、然ラバ思想ノ善導對策ヲ何ト内務大臣ハ考ヘテ居ラレタルカ、本年ノ一月十四日地方長官會議ノ席上ニ於ケル訓示ニ依レバ「思想ノ善導ハ師範教育ノ改善ニ依ツ」師範教育ノ改善ニ俟ツト云フ訓示ヲシテ居ラレバ、其迂言甚ダ嗤フニ堪ヘタリト申サナケレバ

シテ居ル、丁度元日ト大晦日ノ關係ノ如キモノデアルト思ハナケレバナラヌ(笑聲)之ニ對スル政府ノ一方ニ偏シタル取締ト云フモノガ、遂ニ間隙ヲ生ジテ、極右派ノ暴力ル恣ニスル餘地ヲ與ヘタモノデアラウカト吾々ハ考ヘル、政府ハ「ファシズム」ノ憲法政治否認、議會政治破壞、此朝憲紊亂ノ矯激思想ヲ現ニ如何様ニ取締リツ、アルノデアアルカ、詳細ニ承リタイノデアリマス、近頃ノ出版物ヲ諸君モ御覽ニナツタデアリマセウガ、餘程危險ナル思想ガ各所ニ散見ヲシテ居ル、或ハ記事ニ、或ハ評論ニ、怪シ氣ナル「ファシズム」ノ思想ト云フモノガ、頗ル自由ニ、大膽ニ掲載サレテ居ルノデアリマスガ、此出版物ノ取締ニ付テ、内務當局ハ餘リニ緩慢怠慢デハナイカ、餘程放任シテ居ラレタルデアリナイカ、將來此出版物ニ對スル取締ニ對シテ、如何様ナル考ヲ有テ居ラレタルカ確メタイノデアリマス、吾々ハ皇室ヲ中心トシテ、一君萬民ノ民衆政治ヲ徹底致シマシテ、右セズ左セズ、中央ノ大道ヲ堂々トシテ闊歩セントスル者デアリマシテ、政友會ノソレトハ聊カ趣ヲ異ニシテ居ルモノト御承知ヲ願ヒタイ(拍手)飽マデ憲法ヲ擁護シタイ、絕對的ニ議會政治ヲ維持シタイ、首相モ蓋シ御同感デアルト考ヘマスガ、近來「ファシズム」ニ對スル取締ガ餘リト言ヘバ寛大千萬デアルト云フコトカラ、多少ノ疑ヲ有テ居リマス、念ノ爲ニ御意見ヲ伺テ置キタイノデアリマス

ナラス、思想ノ惡化ハ現在ノ事實デセウ、大逆罪、暗殺罪ハ目前ニ展開シテ居ルデセウ、十年、二十年ノ後ニ效果ヲ生ズベキ師範教育ニ今力ヲ入レテ居、テ何ノ對策ニナルカ、盜人ヲ見テ繩ヲ縛フコトハ迂濶デアリマスガ、此師範教育ニ力ヲ入レルト云フコトハ、即チ盜人ヲ見テ繩ヲ縛フノ迂濶ヨリモ尙更ニ大ナル迂濶デアルト申サナケレバナラスノデアリマス(拍手)モウ少シ適切ニシテ適切ナル立派ナ方策ハナイモノデアリマス、此點ヲ詳細ニ承テ置キタイノデアリマス

次ハ文部大臣ニ御尋ラ致シマスガ、此血盟團中ニ大學ノ學生ガ相當居ルモノ、如クニ傳ヘラレテ居リマス、既ニ檢舉サレタト承知シテ居ル、二月十四日ニ第一高等學校ニ共產黨的不穩ノ行動ガアツテ、十數名ノ處分ヲ受ケタ者ガアル、三月十三日ニハ東京帝國大學學生ノ六名ガ思想ノ問題ニ依ッテ檢舉セラレタト云フ事實ガアル、近時學生ノ思想ハ益々惡化致シマシテ、不穩ノ行動ガ甚ダ多イ、殊ニ高等ノ教育ヲ受ケタ者ニシテ中々秀才ト言ハレル所ノ學生共ガ、往往ニシテ極端過激ナ思想ヲ懷イテ檢舉ヲ受ケテ居ルト云フ事實ハ、洵ニ寒心ニ堪ヘザルモノデアリマスガ、之ニ對スル對策ハ、有ルノデアリカ無イノデアリカ承リタイ、鳩山文相ハ「スポーツ」ヲ獎勵スルハ宜シ、「ベースボール」ヲ取締ルモ結構、「ゴルフ」ニ耽ルモ結構デアアルガ、其間ニ學生ノ思想ハ日夜々々危險ニ瀕シテ居ルト云フコトハ、閑却シテ居、テハ私ハ大變デアルト思フ、一體學生ノ思想ガ惡化スルコトヲ、事前ニ防止スルノ對策ハ無イモノトセラレルノデアアルカ、學校當局ガ自ラ考究スルノ必要アルハ勿論デアリマスケレドモ、文部當局ガ學校ニ對シテ其對策ヲ指示スルノ必要ト義務ガアル、如何ナル方針ヲ立テ、對策ヲ講ジツツアルノデアアルカ、今現ニ如何様ニ學校當局ヲ指導シツ、アルノデアアルカ、學生ノ危險思想ヲ根絶スベキ對策ガ有ルノカ無イノ

カ、持合セガアルナラバ承リタイノデアリマス

次ハ總理大臣兼內務大臣ニ對シテ、第四項ト致シマシテ、帝都ノ不安ト云フモノハ、監視廳ノ取締ノ不十分、竝ニ搜查ノ粗漏ト云フコトニ其因ヲ發シテ居ルノデハナイカト云フコトヲ伺ヒタイ、大逆犯人ノ李春昌ハ、昭和三年ノ秋、危險人物トシテ、御大典ノ折拘束セラレテ居ル人物デアルト御承知ハナイノデスカ、上海政府ト特別ノ關係ガアリ、爆彈ハ二箇所有シテ居、而モ何人ガ見テモ、一見朝鮮人ト分ル風態ノ男デアリマス、是ガ監視廳ノ門前ニ至ル場合ノ態度ハ、頗ル怪ムベキ風デアツテ、何人モ之ヲ怪マナカッタ者ハナイ、ソコデ監視廳ノ巡查某ハ果シテ誰何シタ、所ガ彼ノ所持スル憲兵曹長大場全奎ノ名刺ヲ示サレルヤ、直ニ此一枚ノ名刺ニ欺カレテ、身體ノ検査ヲスルコトナク、即チ爆彈ヲ押收スルコトナク、現ニ監視廳ノ門前ニ放チ遺ツタト云フ失態ハ、一體何ト御覽ニナル、當時監視廳ノ監察官ハ定員四名デ、一名ハ缺員デ、其儘放任サレテ居、前內相中橋氏ハ神宮參拜ニ赴カレテ、取急イデ歸京スベカリシ重大ナル場合デアアルニ拘ラズ、悠々自適ノ遊ビ事デアアルカ、ソレトモ黨勢擴張デアアルカ、選舉費ノ調達デアアルカ分リマセヌガ、京都地方ニ滞在シテ、ボンヤリシテ東京迄歸テ來ナカッタト云フ、其留守中ノ出來事デアアルコトハ、怠慢千萬デアルト申サナケレバナラス、其當時警察官ノ精神上ハ、頗ル緊張ヲ缺イテ居、官紀ハ甚ダ弛緩シテ居、監視廳ガ政府ノ命ヲ受ケタノデアアルカ、ソレトモ其意ヲ迎ヘタノデアアルカハ分リマセヌケレドモ、所謂選舉第一主義ニ沒頭致シマシテ、他ヲ顧ルノ餘地ガナカッタノガ、此大逆罪ヲ惹起シタ根本ノ問題デス、其事實ハ何ニ依ッテ是ガ認メラレカト申シマス、亂暴千萬ナル人事行政ノ上ニ現ハレテ居、事實ハ如何ニモ否認

スルコトハ出來マスマイ、長氏ガ總監ニ就任シタル後、昨年十二月申、直ニ刑事警務兩部官房主事ヲ更迭シ、續イテ保安部長ヲ更迭シテ、名謀長ノ評ノ高カッタ刑事課ノ第一第二課長ヲ、共ニ休職ヲ命ジテ居ル、各署ノ視察係、司法主任ヲ、合セテ數十名ヲ更迭ヲシタト云フ亂暴ハ、前例ノ無イコトデアアル、又大竹警務部長ハ、頗ル滑稽ナル訓示ヲ管内ノ署長ニ與ヘテ居、十二月ノ末全署長ヲ集メテ、年内ニ署長ノ異動ハシナイカラ、御警衛ハ熱心ニヤレ、ドウ云フコトデス、年内ニハ異動ヲセヌカラト云フ言葉ハ、一夜明ケレバ首ヲ緘ルゾト云フ申條デアアリマセヌカ、而モ驚クベキコトハ十二月末マデニ、普通ノ慣例ニ背イテ、一月分ノ機密費ヲ一厘半錢與ヘテ置カナカッタ、ソコデ管内ノ全署長ハ、年内ニハ異動ハシナイ、或ハ來ル一月ニハ異動ガアルデアラウト先ヅ考ヘテ、ソコヘ年内ニ受取ルベカリシ機密費ガ一厘半錢渡リマセヌカラ、憤デハ自分ガ誠實サレルノデアラウト考ヘルノハ當然デセウ、即チ助命運動ニ狂奔スルノハ人情ノ常デセウ、此全署長ヲ騁テ不安ノ底ニ陥レテ置イテ、十分ニ内偵ノ活動ヲシトロト申シテモ、機密費ハ一厘半錢與ヘズニ置イテ、十分ニ檢舉取締ニ努力セヨト言フテモ、是ハ無理デアアリマセヌカ、長總監ガ大逆罪ニ付テ免官セラレタル後、政府ハ人選ヲ誤、有名ナル脫線家、非常識家ノ某ヲ監視總監ニ選任ヲ致シマシテ、又空前デアツテ殆ド絶後デアアル所ノ大異動ヲ行ツテ居、十數名ノ休職署長ヲ復活シタ、甚シキハ六十四歳ノ老年者ヲ署長ニ起用シテ居、六十四歳ノ老署長ハ、火事ガアツタ時ニ足元ハ出來ヌデアリマセウ、刑事部ノ第一課長ヲ更迭シ、主任七名ノ中三名ヲ更ヘ、刑事巡查六十九名中驚クベシ二十有餘名ヲ選ヘテ居、高等課ニ於テハ經驗ノアル所ノ主任四名共更迭ヲシテ居リマスカラ、專門的知識ヲ要スル所ノ思想問題ノ

研究モ出來ナケレバ、彼等一味徒黨ノ行動モ一向搜查スルコトガ出來ナイ實情ニナツタノデアリマス、現ニ長谷川總監ハ、亂暴ニモ新聞記者ニ對シテ、今ハ選舉第一ダ、事務ハ一切部下任セダト放言シテ居ルデアリマセヌカ、何ト云フ監視總監デアアル、此長谷川氏ノ失態百出ガアリマシタ爲ニ、流石ノ中橋內相モ遂ニ之ヲ誠首シナケレバナラスコトニナツタノデアリマシタガ、其誠首ノ後ハ愈々人選ヲ嚴ニスベキデアアルニ拘ラズ、警察ニハ全然無經驗デアアル大野君ヲ拉シ來、タノハ一體何ト云フ心懸デアリマスガ、大野新總監ハ相當ノ人物デアツテ、立派ナ役人デアアルコトハ認メマスルガ、彼ハ警察官ノ經驗ガ一日モナイ、縣ニ於テ警察部長ヲシタコトモナイ、警部ニナツタコトモナイ「サーベル」ヲ腰ニ吊ツタコトモナイ、サウ云フ無經驗ナル人間ヲ、情實のニ捉ヘ來ツテ、帝都治安ノ任ニ當ラシムルト云フ、其大膽不敵、亂暴言フ所ヲ知ラヌノデアリマス、現ニ大野君ハ井上氏ガ暗殺サレマシタ時ニ、輕卒ニモ即斷シテ、事件ノ背後ニハ連累者ハナイト明言ヲシテ居、能ク取調ベナケレバ、事件ノ背後ニ連累者ガ有ルカ無イカ分ラヌデセウ、苟モ警察ニ經驗ノアル者ハ、此背後ニ連累者ガ有ルカ無イカト云フコトハ、サウ容易ク明言ノ出來ルモノデアナイガ、是ガ無經驗ノ悲シサデ、一應取調ベテ、直ニ事件ノ背後ニ連累者ナシト即斷ヲシタコトガ、第二ノ暗殺事件ヲ惹起シタ原因デアアリマセヌカ、大野總監ガ血盟團ノ組織的團體デアルト云フコトニ氣ガ付カナカッタ迂闊ハ、甚シイコトデアリマシテ、團男爵ガ再び兇手ニ登レルニ及ンデ、急ニ態度ヲ一變シテ、警察ニ手落ガアツタ、何トモ恐縮ニ堪ヘヌト白狀シタノハ、既ニ遲イト言ハナケレバナラス、茲ニ一ツノ御參考ニ供スベキ文書ガアリマス、是ハ久岡幸昌ナル者ガ昭和六年ノ十二月二十九日ニ監視總監ニ宛テ、控ヘテ取ツテ發送シ

全ノ地位ニ立テ、一日ノ安キヲ貪ラントシタ所ノ卑怯未練ノ行動デアルト私ハ思フノデアリマス、犬養首相ハ昨日此壇上ニ於テ男子屍ヲ馬革ニ裹ムノ概ヲ示シテ、右顧左盼、此日本ノ時患ヲ匡救スルノ誰ガ何ト言フモ吾々ダト云々壯烈極マル態度ヲ執ラレタ、老來意氣益々盛ニシテ、大イニ敬意ヲ表スル、併ナガラ昨日ノ態度ニ似モヤラザル所ノ千里隔絶、攻撃ノ的ヲ外シテ一日ノ安キヲ貪ルト云フガ如キ態度トハ、天地霄壤ノ差ガアルデハナイカ、何ゾ前ニ勇ニシテ後ニ怯ナルヤデアル、其眞意ヲ承リタイ、併ナガラ是モ亦心境ノ變化デアルト言ハレバ我輩又何ヲカ言ハンヤデアリマス

最後ニ此思想ノ惡化ト世相ノ險惡ト云フモノト、政友會ノ言説行動ノ關係ニ付テ疑ハシキモノガアリマス、此事ナクンバ甚ダ國家ノ爲ニ幸デアル、此惑ヲ解カシガ爲ニ、特ニ此最後ノ項目ニ付テ明快ナル御答辯ヲ煩シタイノデアリマス、首相ハ世相ノ險惡ノ原因ノ一トシテ、政治家ノ責任デアルト言ハレテ居ル、政治ノ刷新ヲ期シタイト言ハレテ居ル、其事ハ洵ニ結構デアルトシテ我等モ至極贊成デアリマス、吾々ハ議會ノ神聖ヲ保持シヨウトスル、品位ノ向上ヲ圖ラントスル、議會内ニ於ケル暴力ノ禁壓ヲ行ハントスル、選舉界ノ廓清ヲ實現シタイ、干涉壓迫ヲ根絶シタイ、先ヅ以テ選舉法ノ改正ヲ實行シタイ、政權獲得第一主義ヲ排除シタイ、國利民福主義ノ善政第一主義ヲ徹底シタイ、斯ノ如クニシテ初メテ社會ハ靜謐デアッテ、世間ハ平穩デアリマセウ、然ルニ翻テ政友會並ニ政友會内閣ノ爲セル所ノ事蹟ノ跡ヲ釋ネバ思ヒ半バニ過グルモノガアル、臣節問題ニ付テハ昨日齋藤君糾彈ノ通り、一タビ聖旨ノ下ルニ會フヤ詔ヲトシテ自得ノ情ヲ掩ハズ、恬然トシテ其位ニ留マッテ居ルコトハ思想惡化ノ最モ大ナルモノデアルト言ハナケレバナラ

ス、前々議會ニ於テ幣原臨時總理大臣ノ答辯中、無イ所ニ柄ヲスゲテ、失言アリト稱シテ六日、七日、ノ間亂闘ニ亞ガリ亂闘ヲ以テシテ、殆ド容易ナラザル亂暴狼藉ヲ働イテ、議會ノ威信ヲ地に墜サセタノハ政友會デハナイカ、近クハ昨日ノ委員會ニ於テモ、濫リニ野黨ノ發言ヲ封ジテ亂暴狼藉、我黨ノ田中委員ノ身邊ニ迫ッテ、或ハ危害ヲ加フベキ姿勢ヲ示シテ脅迫シタト云フ事實ヲ何ト御覽ニナル、又前議會ニ於テハ反對黨ノ口ヲ緘シテ一言モ發セシメナイ、言論結社ノ自由ニ付テハ數十年來孤軍奮闘ノ勢ヲ以テ働カレタ所ノ、畏敬スベキ犬養先生デハアツタガ、一度總理大臣トナレバ此體行ヲ敢テシテ居ル、又總選舉ニ臨ンデハ選舉第一主義ノ實行ヲ徹底シテ、警察官ヲ政黨化シテ居ル、干涉壓迫ヲ行フテ居ル、熊本ノ實例ハドウデス、サウシテ不自然ナル多數ヲ獲得シテ得々トシテ居ル、政策ヲ偽シテ議員ヲ偽造シテ居ル、物價ヲ妄リニ暴騰セシメル、社會民衆ノ生活不安ヲ來シテ居ル、社會政策ハ不徹底デアル、失業對策ハ考ヘテハ居ラス、帝都不安ノ眞最中ニ專任内相一人サヘモ置クコトガ出來ヌニ至ッテハ、思想モ惡化シテ、社會モ不安ニナルニ決ッテ居ルデハアリマセウカ、即チ思想惡化ノ重大原因ヲ成シテ居ルノハ、政友會並ニ政友會内閣デアルト言ハレテモ辯解ノ言葉ハナイト思フ(拍手)今ヤ日本ノ社會ハ政友會ノ機關車ニ引摺ラレテ、即チ政友會ノ世相惡化ノ「レール」ノ上ヲ眞直グニ急速度ニ邁進シテ居ルト云フ現狀デアル(拍手)此政友會並ニ政友會内閣ガ思想惡化ト云フモノニ對シテ責任ガアルト御考ヘニナルカ、ナイト御考ヘニナルカ、敢テ伺ヒタイノデアリマス(拍手)

直ニ結論ニ入りマス、此帝都不安、世相ノ險惡ト云フモノハ、私共ハ思フ、總理大臣ハ社會組織ノ缺陷ト申サレマシタガ、吾等ハ其外ニ尙ホ經濟組織ノ缺陷ガアルト認

メル、其外ニ政治組織ニ缺陷ガアルト思フ、此社會組織、經濟組織、政治組織ノ缺陷ニ淵源シテ居ル所ノ思想惡化ト云フモノニ原因ヲシテ、殊ニ現時ノ暗殺團ノ行爲ハ「フアツシズム」ノ一斷面ノ現レデアッテ、彼等ノ暴虐ヲ擅マル、ニセンメタル直接ノ原因ハ、實ニ不公明ナル人事行政ヲ行フタ政友會内閣ノ爲ニ、豫防警察ト云フモノガ怠慢不注意ヲ重ネテ、檢舉搜查ガ怠慢デアッテ、過失ガ簇出シテ、其結果斯様ニナツタコトデアルト考ヘマスカラ、政府ノ責任ハ頗ル重大デアルト考ヘル、之ニ對シテ總理大臣ハ何等ノ責任ナシト強辯スルノ勇氣ガアルカナイカ承リタイ

即チ私ノ質問ハ斯様ニ要約スルコトガ出來ル、首相並ニ兼攝内相ニ對シテハ、第一、帝都不安ノ原因、社會不安ノ原因ハ何レニアルヤ、首相ノ所謂刷新トハ何ダ、政治ノ改善ノ具體的方策ハ何處ニアル、過激運動ノ取締ハドウ云フ風ニ對策ヲ講ズルノデアルカ、具體的方策ガアラバ承リタイ、ナケレバナイト御言明ヲナサイ二項ハ「フアツシズム」ニ對スル御意見如何、三ハ思想善導ノ根本策如何、四ハ警察ノ不取締、取調ニ粗漏アリトスルヤ否ヤ、五ハ專任内相問題ノ辯明如何、六ハ政友會ノ思想惡化ニ對スル責任アリト認ムルヤ否ヤ、此六項デアリマス、司法大臣ニ對シテハ第一項トシテ新聞記事ノ取締ニ關スル御意見如何、犯罪ノ事實發表ノ意思アリヤ否ヤ、大逆罪ノ共犯アリヤ否ヤ、血盟團ニ黑幕紳士アリヤ否ヤ、二項ハ井上氏事件ノ時ニ檢事局ノ搜查ニ粗漏ガアツタカナイカ、若シ粗漏ガアツタトスルナラバ、將來ハ如何ニ善處セントセラレルノデアルカ、此二項デアリマス、鳩山氏ニ對シテハ學生思想ノ取締並ニ是ガ指導方策如何、二項トシテハ内容證明郵便ニ對スル警告書ニ付テ取計ハレタル行動如何、三大臣ハ願クバ誠意ヲ以テ御答辯ヲ願ヒマシテ、此帝都不安ヲ一日モ速カニ去ラシムルヤウ

御努力アラムコトヲ希望シマス(拍手)

(國務大臣犬養毅君登壇)

○國務大臣(犬養毅君) 私ハ御答申ス前ニ質問者ニ一ツ御頼ミシタイ、餘リ長イノデ簡條ガ六トカ何トカ仰シヤルガ、何々カ一寸ソコヘ書イテ下サイ、サウセヌト餘リ長イ演説デ私ハ覺エテ居リマセヌ、ソレヲ一ツ持ッテ來テ下サイ、斯ウ云フ長イ演説ハ忘レマス

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ願ヒマス、靜肅

○國務大臣(犬養毅君)(續) 是ヨリ御答ヘ致シマス、第一ノ御尋ハ今日ノ思想惡化、此原因ハ何レニアリヤ、私ハ無論是マデ公ニシテ居ル通り種々ナ原因ガアル、併ナガラ其中ニ政治ガ七分マデ責任ヲ負ハナケレバナラヌト云フノガ、歴代ノ政治ヲ指スノデアル、是ハ政治ノ歴代ノ缺陷、是ハドウシテモ負ハナケレバナラヌ、ソレカラ思想ノ問題、是ハ私、地方官會議ノ時ニ師範教育ハ必要デアルト云フコトヲ言フタト云フノデ、泥棒ヲ捉ヘテ繩ヲ縛フヤウナモノダト云フ意味ニ質問者ハ述ベマシタ、サウデハナイ、ドウシテ斯様ナ思想問題ノヤウナ大キナモノヲ取扱フ、差向キ當面ノ急、之ヲヤルコトガ一ツ、ソレバカリデハ盡キナイ、其源泉ニ上ッテ之ヲ防禦シナケレバ出來ナイノデス、此源泉ハ一寸述べテモ長クナル、ナルタケ私ハ簡單ニ言ハヌト、何カ坊サンカ哲學者ノ講釋ミタイナモノニナルガ、今日私ノ豫メノ議論カラ言フト……

(發言スル者多シ)

○議長(秋田清君) 靜肅ニ願ヒマス、靜肅

○國務大臣(犬養毅君)(續) 少シ御聽キナサイ、之ニ付テハ私ハ一番研究シテ居ル問題デアル、研究シテ居ル問題ト云フノハ一體道德觀念ガ何處カラ發生スルカ、文學ノ上カラ得ラレルモノデハナイノデアル、必ズ道德、道念ノ源泉ト云フモノハ一ツノ信

仰ダ、儒學デモサウデアル、佛教デモサウデアル、何デモサウデアル、ソレデナケレバ起ラヌノデアル、眞ノ道念ハ文字ノ上デ教科書ヲ讀ンデ、サウシテ善行美事ヲ爲シタル事例ヲ示シテ、兒童ノ頭ニ道念ヲ吹込ムト云フコトハ出來ナイノデス(ヒヤヒヤ)ソコデドウスレバ宜イカ、此幼年ノ子供ニ道念、ソシナムヅカシイモノヲ吹込ムコトハ出來ナイ、併ナガラ畑ダケハ作テ置カナケレバナラヌ、何時デモソコニ打込ンデ行ケバ稔ルト云フ畑ダケハ拵ヘテ置カナケレバナラヌ、是ガ教育デアル、ソコデ其畑タル子供ニ持ッテ行ッテ、打込ムニハドウカト言ヘバ、文字ノ上デハ出來ナイ、ムヅカシイ理窟ヲ言ッテ所ガ分ラヌ、之ヲ教育シテ行ク、大概校長ガ倫理道德ヲ受持ツノデアリマス、之ヲモウ少シ改善シテ一種ノ信念ヲ持タセル、信念ハ耶穌教デモ宜ケレバ、佛教デモ宜ケレバ、儒教デモ宜イ、或信念ヲ持タセ、或信念ヲ持ッテ、文字ニ書イタモノヲ校長ガ打込ムト云フコトハ――

畑ニ出來ルト云フコトハ、之ガ師範教育ノ改善デアアル(拍手)詳シイコトヲ御聽キニナリタケレバ、閑ノ時ニ何時デモ御話致シマス、之ヲ言フトマルデ講義ニナルヤウダカラ、私は是ダケデ止メテ置ク、ソレデアアルカラ斯ウ云フ問題ハ、當面ノ急ト、原因ト兩方カラ見ナケレバナラヌ、政治ノ責中ト云フノハ歴代ノ政治ノ責任デアリマス、獨リ一黨一派デナイ、ソレカテ無論此外ニモ責任ヲ負フベキモノガ澤山アル、之ヲ改善スル、私は此任ニ當ッテ、最モ自分ガ確信シテ居ルノハ、之ヲ改革シヨウト云フノ

デ、ソレハ何人モ改革セナイノヲ、私ハ著手シヨウト云フノガ、茲ニ留マッテ居ル所以デアアル、行フト云フコトハ具體的ニ經費カラ一切ノモノヲ揃ヘテ、案ヲ出ス時ヲ御待ち下サヌケレバ、今日發表スル時期ニ達シナイ(拍手)又左様ナモノヲ今日茲ニ述ベル必要モ何モナイ

ソレカラ「ファウシズム」ニ對スル意見如何、無論取締ル、取締ッテ效果ヲ擧ゲテ居ル、擧ゲテ居ルト云フノハ、斯様ナ血盟團ノアタト云フコトハ、前内閣モ探知シテ居ラレマセウ、探リ得テ居ラレルダラウ、堪能ナリト號セラレタ内務大臣ト、堪能ナリト號セラレタ警視總監、警保局長、是デスラ唯バツト、ソレヲ得タキリデ捕ヘテ居ナイデヤナイカ、ソレ位難シイ、向フガ進ンデ居ル、向フガ此進行運動ハ餘程進ンデ居ル、ソレヲ捕ヘタデヤナイカ、現ニ二人迄危害ヲ加ヘラレタト云フコトハ、甚ダ遺憾デアアルガ(ピストル)ノ所在、其外捕ヘ擧ゲタデヤナイカ、堪能ナル警視總監、警保局長ガ爲シ得ザルコトヲ爲シテ居ルノデアアル、ソレデアアルカラ經驗ノ無イ警視總監ナド、云フコトハ、少シ御控ヘニナッタ方ガ宜カラウト思フノデアアル

(發言スル者多シ)
○議長(秋田清君) 靜肅ニ
○國務大臣(犬養毅君)(續) ソレカラ思想善導、是ハ大概一デ御答シタノデ……
(發言スル者多シ)
○議長(秋田清君) 野中君ニ注意致シマス――靜肅ニ……
○國務大臣(犬養毅君)(續) 大概盡キテ居

ルダラウト思ヒマス、ソレカラ第四――御聽キナサイ、質問スルカラ述ベテ居ルノダカラ、聽カナケレバ質問ノ要ガナイデヤナイカ、政友會ノ思想激化ニ對スル責任、政友會ハ左様ナ責任ハ負ハナイ、激化サセテハ居ナイ、激化サセタノハ、前内閣ガ最モ激化サセタノデアアル、責任ハソコニアルノダ

(取消セ)ト呼ヒ其他發言スル者多シ
(離席者多ク議場騷然)
○議長(秋田清君) 諸君御著席ナサイ、總員著席ナサイ――(拍手)總員御著席ナサイ(拍手起ル)

○國務大臣(犬養毅君)(續) ソレカラモウ一ツノ御尋ネノ簡條ハ、警察ノ取締ニ粗漏アリトスルヤ否ヤ、是ハナイト御答致シマス、唯簡單ニ左様ナコトハナイ
(發言スル者多シ)
○議長(秋田清君) 靜肅ニ、工藤君、工藤鐵男君御著席ナサイ――御著席ナサイ――(拍手起ル)

○國務大臣(犬養毅君)(續) ソレカラ最後ノ御尋ハ、中橋内務大臣ガ選ッテ、ソレヲマルデ新聞ニアルコトヲ事實ト爲サツテノ御尋デアアル、私は決シテ中橋君ニ辭職ヲ勸メモ何ニモ致シマセヌ、ソレカラ元病人デアアル――病人デアアリマセヌ、當時ハ僅カノ病氣デ、最早癒エツ、アッタ、御承知ノ通り伊勢神宮ニモ參詣ガ出來ルト云フ位ナ程度ニナツテ居ッテ、全快スベキ人ナンデアリマス、之ヲ完テルノハ尤モデアアル、ソコ

デ此度辭メラレタノハ、是ハ私ハ醫者デナイカラ、ドノ位ナ程度デ癒ルト云フノハ、私ニハ分リマセヌ、内務大臣ニ任ゼラレタ時ニハ僅カナコトデ全快サレテ、立派ニ働ケルト信ジテ居ッテ、所ガ其中ニ種々ナ病氣ガ生ジタ、併ナガラ不治ナ病デハナイ、確カニ癒ル、是ハ私確信スル、所ガ當人ニ於カレテハ、癒ルガ、醫者ノ説ニ依ルト、ドウシテモ完全ニ耳ガ聞エルト云フノハ理想的ニ言ッテ四箇月、斯ウナルト此次ノ議會ニ出ラレナイヤウニナル、然ラバ職、是ハ恐入ル、陛下ニ對シテモ恐入ルカラ此際ニ辭シタイ、斯ウ云フノデス、別ニ私ハ罷メロト云フコトヲ求メモシナケレバ、何ニモシナイ、ソシナラ不治ナ病デアアルカト醫者ニ聞イテ見レバ、不治ノ病デハナイノデアアル、唯理想的ニ順調ニ行ッテ四箇月モ掛ルト云フノデアアルナラバ、此次ノ議會ニ出席出來ヌト云フコトハ實ニ自分ハ恐入ルカラト云フノデ、強ヒテ辭メヨウ、斯ウ云フノデアアル、避ケルノデモ何デモナイ、中橋君ガ避ケテモ私が兼任スレバ、質問ハ總テ引受ケル、同ジコトナノデアリマス(拍手)ソシナコトデ避ケハシマセヌ、避ケヌカラ吾々ハ此處ニ立ッテ居ルノデアアル、ソシナコトヲ避ケルヤウナコトハ致シマセヌ、ソレカラ此外ニ區々タル細目ニ互ッテ御尋ガアリマスガ、是ハ政府委員モ居リマスシ、細カイ事ノ御尋ガアレバ、ソレハ御答シマス、満足出來ルマデ御答シマス、又ソレカラ司法大臣、文部大臣ヲ名指サレタノデアリマスカラ、是モ御答辯シマセウ、定メテ御満足ニナルマデノ御答辯ハ出來マセウ

(拍手)

(國務大臣鈴木喜三郎君登壇)

○國務大臣(鈴木喜三郎君) 武富君ニ御答申シマス、此度ノ事件ニ付テ、新聞記事掲載ヲ禁止シナカッタノハドウ云フ譯デアアルカト云フ御尋デゴザイマスガ、凡ソ檢察事務ニ付キマシテ、新聞掲載ヲ禁止スルカシナイカト云フコトハ、事件ノ如何ニ依ッテ、檢事局ガ觀察スルノデアリマス、掲載シテ是ナル事アリ、非ナル事アリ、是ハ多年檢事ノ職ヲ奉ゼラレタル武富君能ク御承知ノコトデアリマス(拍手)今回ノ事件ニ付キマシテ禁止シナカッタト云フコトハ、却テ禁止スレバ人心ヲ惑ハス、人心ノ不安ヲ來スト云フコトノ意味ニ依ッテ禁止シナカッタノデアリマス(拍手)

ソレカラ第二問ノ此間ノ大逆事件竝ニ團君暗殺事件、是等ノ事件ノ背後ニ有力者ガアルカナイカ、或ハ此事件ニ付テ共犯者ガアルカナイカト云フコトハ未ダ以テ公表スルノ域ニ達シマセヌ、却テ公表スレバ共犯者アル場合ニ於テハ逃ゲテシマヒマス、是モ武富君ノ御承知ノコトデアリマス、而シテ今回ノ事件搜查ニ付キマシテモ、亦先般ノ井上君ヲ暗殺シタ事件ニ付キマシテモ、檢事局ニ於キマシテハ聊カノ檢察事務ニ付キマシテ遺漏アルコトヲ認メマセヌ(拍手)

(國務大臣鳩山一郎君登壇)

○國務大臣(鳩山一郎君) 武富君ノ私ニ對スル質問ニ對シテ御答ヲ申上ゲマス、矯激ナル思想ニ對スル對策ハ如何ナルモノデアアルカト云フ問デアリマシタ、矯激ナル思想ガドウ云フ原因ニ依ッテ生ズルカ、是ハ昨日

民政黨ノドナタカノ御演說ニモアリマシタ通りニ、政治上カラ來ルモノモアリ、或ハ社會上ノ原因ニ依ッテ來ルモノモアリマス、又經濟上ノ原因ニ依ッテ來ルモノモアリマス、其出ヅテ來ル所ノ原因ガナクナリマスレバ、隨テ矯激ナル思想ガ無クナル次第デアリマスカラ、原因ガ多種多樣デアレバ、之ニ對スル對策モ多種多樣デナクテハナラナイノデアリマス

併ナガラ其矯激ナル思想原因ハ多種多樣デアリマスルケレドモ、或ル見方ニ依リマスルト、非常ニ單純化セラル、ノデアリマス、何デ單純化セラル、カト言ヒマスルト、ソレハ年齡カラ考ヘルノデアリマス、年齡カラ考ヘマスルト、十八歳カラ二十三歳位ノ者ガ矯激ナル行動ニ移ルヤウナ次第デアリマスカラ、此年齡カラ考ヘマスレバ、此對策ガ又比較的容易ニ考ヘラル、ノデアリマス、即チ學生生徒ニ對スル監督取締其宜シキヲ得マシタナラバ、此矯激ナル思想ノ大半ハ之ヲ驅逐スルコトガ出來ハシナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマス、隨テ學生生徒ニ對スル取締、其指導ト云フコトニ付キマシテハ、多年文部省ニ於テモ出來ルダケ努力ヲ致シテ居リマス、其主ナルモノヲ申上ゲマスレバ、第一ニ指導教官制度デアリマス、指導教官ヲ置キマシテ、サウシテ學生生徒ノ左傾スルヲ善導シテヤル、第二ニハ或ハ講演或ハ「パンフレット」ニ依リマシテ學生生徒ヲ指導スルノデアリマス、第三ハ貧困ナル學生ガ其生活ニ困ルガ爲ニ、左傾ニナル場合ガアルモノデアリマスルカラ、生徒ノ福利増進ト云フモノニモ力ヲ盡シテ居リマス、同時ニ又

第四ト致シマシテ學生生徒ニ穩健ナル研究、修養ノ團體ヲ獎勵ヲシテ居リマス、斯ウ云フヤウナ色々ナコトヲヤリマシテ、十八歳カラ二十三歳ニ達スル學生生徒ニ對シマシテハ出來得ルダケノ力ヲ盡シテ居ル次第デアリマス、是ハ多年文部省ニ於テヤッテ居リマシタ所デアリマスルカラ、其處ニ坐ッテイラ、シヤル田中前文部大臣ニ武富サシガ御聽キ下サッタナラバ、ヤハリ同様ノ御答ヲ得ラル、コト、思ヒマス、其上ニ

デス、將來如何ナルコトヲ考ヘテ居ルカト云ヒマスルト、學生生徒ノ試験科目ヲ段々ニ少クシテ參リマシテ、自由時間ト云フモノヲ餘計ニ持タシタナラバ、學生生徒ガ矯激ナル思想ニ移ルノヲ幾分力取止メルコトハ出來ナイカ知ラ、生徒ト先生トノ接觸時間、之ヲ殖ヤスコトガ、又學生ガ誤ラザルヤウニナル方策デハナイカ知ラ、斯ウ云フヤウナ點ニ付キマシテ目下文部省ニ於テ考案中デアリマス、是ガ先刻總理大臣ガ此處デ答ヘラレタ眼前ニ付テノ方策ト云ヒマス、師範教育改善トカ云フ先ノ方策ニ非ズシテ、只今直接ニ斯ウ云フヤウナ對策ヲ執ッテ居ル次第デアリマス、是デ以テ私ハ御問ニ對シテ答ヘタ積リデアリマス、先刻武富君ハ私ニ對スル質問ノ間ニ於テ野球トカ「ゴルフ」トカ仰シヤイマシテ、何ダカ野球「ゴルフ」等ノ如キモノヲ有閑階級ノ單純ナル娛樂ノヤウニ御考ヘニナッテ居リマスルガ、斯ウ云フ思想ハ極メテ舊思想デアリマシテ(拍手)「スポーツ」ハ今精神教育ノ上ニ最重要ナル要素ヲ有ッテ居リマスノデアリマス、アナタノヤウナ説ハ是ハ「スポーツ」ヲ非常ニ冒瀆スルモノト申上ゲタイノデアリ

マス(拍手)

最後ニ序ニ私ニ質問ガアリマシタ第二ノ點ハ其書面ハ、私自ラハ讀ンデ居ラナイ、知リマセヌ、是ニ對シテハ何トモ御答ヲ致スコトハ出來マセヌ、惡シカラズ御諒承下サイマセ

○原惣兵衛君 本日ハ是ニテ散會セラレンコトヲ望ミマス

○議長(秋田清君) 原君ノ動議ニ御異議アリマセスカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(秋田清君) 御異議ナシト認メマス、仍テ動議ノ如ク決シマス、明日ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス

午後六時十分散會

(昨二十三日衆議院議事速記第二號中二四頁四段日程第七、第九、第十一、第十二、第十三各節ニ入ルヘキ議案)

日程第七ノ次ニ入ルモノ

昭和七年勅令第四號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ銀行券ノ金貨兌換ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和七年一月二十七日

内閣總理大臣 犬養 毅
大藏大臣 高橋 是清
海軍大臣 大角 岑生
鐵道大臣 床次竹二郎
內務大臣 中橋徳五郎
司法大臣 鈴木喜三郎

逓信大臣 三土 忠造
陸軍大臣 荒木 貞夫
文部大臣 鳩山 一郎
農林大臣 山本悌二郎
商工大臣 前田 米藏
拓務大臣 秦 豐助
外務大臣 芳澤 謙吉

勅令第四號

日本銀行ハ當分ノ内大藏大臣ノ許可ヲ得タル場合ヲ除ク外兌換銀行券ノ金貨兌換ヲ爲スコトヲ得ズ
朝鮮銀行ハ當分ノ内大藏大臣ノ許可ヲ得タル場合ヲ除ク外朝鮮銀行券ノ金貨引換ヲ爲スコトヲ得ズ
臺灣銀行ハ當分ノ内大藏大臣ノ許可ヲ得タル場合ヲ除ク外臺灣銀行券ノ金貨引換ヲ爲スコトヲ得ズ

附則

本令ハ昭和六年勅令第二百九十一號失効ノ日ヨリ之ヲ施行ス

日程第九ノ次ニ入ルモノ

昭和七年勅令第七號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第八條第一項ニ依リ昭和六年度ニ於ケル國債償還資金ノ繰入一部停止ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和七年一月三十一日

内閣總理大臣 犬養 毅
大藏大臣 高橋 是清
海軍大臣 大角 岑生
鐵道大臣 床次竹二郎
農林大臣 中橋德五郎

司法大臣 鈴木喜三郎
逓信大臣 三土 忠造
陸軍大臣 荒木 貞夫
文部大臣 鳩山 一郎
農林大臣 山本悌二郎
商工大臣 前田 米藏
拓務大臣 秦 豐助
外務大臣 芳澤 謙吉

勅令第七號

昭和六年度ニ於テ國債整理基金特別會計法第二條ノ規定ニ依リ繰入ルベキ元金償還資金ハ四千四百萬圓ヲ限リ之ヲ繰入ヲ爲サザルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

日程第十一ノ次ニ入ルモノ

昭和七年勅令第六號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第七十條第一項ニ依リ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和七年一月三十一日

内閣總理大臣 犬養 毅
大藏大臣 高橋 是清
海軍大臣 大角 岑生
鐵道大臣 床次竹二郎
農林大臣 中橋德五郎
司法大臣 鈴木喜三郎
逓信大臣 三土 忠造
陸軍大臣 荒木 貞夫
文部大臣 鳩山 一郎
農林大臣 山本悌二郎

商工大臣 前田 米藏
拓務大臣 秦 豐助
外務大臣 芳澤 謙吉

勅令第六號

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ二千九十一萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得
前項ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前項ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

日程第十二ノ次ニ入ルモノ

昭和七年勅令第十四號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第七十條第一項ニ依リ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和七年二月十五日

内閣總理大臣 犬養 毅
大藏大臣 高橋 是清
海軍大臣 大角 岑生
鐵道大臣 床次竹二郎
農林大臣 中橋德五郎
司法大臣 鈴木喜三郎
逓信大臣 三土 忠造
陸軍大臣 荒木 貞夫
文部大臣 鳩山 一郎
農林大臣 山本悌二郎
商工大臣 前田 米藏
拓務大臣 秦 豐助
外務大臣 芳澤 謙吉

勅令第十四號

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ昭和七年勅令第六號ニ依リ起債シ得ル金額三千四百萬圓ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ前項ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲スコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

日程第十三ノ次ニ入ルモノ

昭和七年勅令第十九號

朕茲ニ緊急ノ必要アリト認メ樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ帝國憲法第七十條第一項ニ依リ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

昭和七年三月三日

内閣總理大臣 犬養 毅
大藏大臣 高橋 是清
海軍大臣 大角 岑生
鐵道大臣 床次竹二郎
農林大臣 中橋德五郎
司法大臣 鈴木喜三郎
逓信大臣 三土 忠造
陸軍大臣 荒木 貞夫
文部大臣 鳩山 一郎
農林大臣 山本悌二郎
商工大臣 前田 米藏
拓務大臣 秦 豐助
外務大臣 芳澤 謙吉

勅令第十九號

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲政府ハ昭

和七年勅令第六號及同年勅令第十四號
ニ依リ起債シ得ル金額ノ外千五百萬圓
ヲ限リ公債ヲ發行シ又ハ借入金ヲ爲ス
コトヲ得
前項ノ規定ニ依ル公債ノ發行價格差減
額ヲ補填スル爲必要アル場合ニ於テハ
前項ノ制限以外ニ公債ヲ發行シ又ハ借
入金ヲ爲スコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

